

吸引式高機能捕虫機

Clean Eco Line GXII

クリーンエコラインGXII

取扱説明書

2019年2月 第1版



本製品を安全に正しく使用していただくために、使用前に必ず本書をお読みください。
本書は、お読みになった後いつでも使用できるように、必ず所定の場所に保管してください。

IKARI

イカリ消毒株式会社

文書管理番号
B-GX202-0111

はじめに

このたびは、クリンエコラインGXⅡ（以下「本製品」と記載）をお買い上げいただき、ありがとうございます。

本製品をお使いいただく際には、この取扱説明書（以下「本書」と記載）をよくお読みになり、正しくお使いください。また、本書はすぐに取り出せる場所に保管し、紛失しないようご注意ください。

登録商標について

「クリンエコラインGXⅡ」は、イカリ消毒株式会社（以下「当社」と記載）の登録商標です。

著作権

本書の著作権は、当社またはその許諾者が有します。また、お客様は、当該情報を当社の承諾なしに第三者に開示できません。

当社から事前に許可を受けることなく、本書の全部または一部を使用および複製することはできません。また、本書の全部または一部を他の言語に翻訳、書き換えを行うことも禁止されています。

本書の対象読者について

本書は、本製品をご使用になるすべての方を対象に記載しています。ただし、通信試験や電気工事など専門技術を要する作業についての内容は記載しておりませんので、それらの専門技術情報は、しかるべき資格を有する方が、当社から適切な情報を入手の上行ってください。

お願い

本書の内容は予告なしに変更することがあります。あらかじめご了承ください。

この製品は、日本国内専用です。

本書の記載には万全を期しておりますが、万一誤りなどがございましたら、当社までご連絡ください。

製品本体および構成部品、消耗品の廃棄方法は、国または地方自治体が定める行政法令に従ってください。

本製品を貸与または譲渡される場合は、本製品と一緒に本書をお渡しください。

本書の表記方法について

シグナルワードの意味

本書では、記載事項を守らないと人体への危険や物的損傷を招くおそれのある事項に関して、以下のような「警告」や「注意」といったシグナルワードを付けて記載しています。これらのシグナルワードが付いた記載事項は、事前によく読み理解し記載内容を遵守してください。



警告

「警告」項目は、本製品の運用中に、作業者が死亡または重傷を負う可能性のある場合について記述しています。



注意

「注意」項目は、本製品の運用中に、作業者が軽傷または中等傷を負う可能性のある場合について記述しています。

注記

「注記」項目は、作業者が負傷するおそれはないが、本製品、設備、機器などに損害や故障を引き起こすことが予想される場合について記述しています。

「重傷」、「中等傷」、「軽傷」の定義

「重傷」	失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで後遺症が出るもの、および治療に入院や長期の通院を要するもの。
「中等傷」	全治1か月未満の入院を必要とし、軽度の後遺症が出るもの。
「軽傷」	治療に入院や長期の通院が必要ないもの。

絵記号の意味



人体に影響のあるリスクを示す記号です。この記号とともに具体的な警告内容が書かれています。



禁止行為を示す記号です。この記号とともに具体的な禁止内容が書かれています。



実行しなければならない行為を示す記号です。この記号とともに具体的な指示内容が書かれています。

メモ

「メモ」項目は、運用上、特に知っておかなければならない情報や内容がある場合に記述します。

参照

「参照」項目は、関連する記載事項がある場合に、その参照先を記載します。

使用期間、供給期限について

設計上の標準使用期間について

 警告	 本製品の「設計上の標準使用期間」は、出荷後6年です。「設計上の標準使用期間」を超えて使用すると、経年劣化による発火や漏電などの事故が発生するおそれがあります。
---	---

この「設計上の標準使用期間」は、保証値ではありません。お客様による適切な維持・管理とお手入れを行った場合の標準的な想定期間です。また、ご使用条件（環境など）により記載数値を満足しないことがあります。

「設計上の標準使用期間」を超えた場合は、お手数ですが当社までご連絡ください。

本書の内容は、本製品が「設計上の標準使用期間」を迎えるまで有効とします。

保守部品の供給期限

保守部品の供給期限は、原則として、本製品の製造中止から6年間を目安としております。

ただし、使用部品のうち汎用の電子部品などにつきましては、メーカーの都合により、短いサイクルで製造が終了したり、仕様が変更されたりすることがあります。

当社では、汎用電子部品の製造終了時には、必要な数量を予測して一定数量を確保するよう努力しておりますが、場合によっては、本製品の製造中止後、6年を経過する前に、保守部品の一部の供給を終了させていただく場合がございます。

また、市販品の機器および部品につきましては、各メーカー規定の供給期限となります。

保証期間満了後の修理などについてご不明な場合は、当社にお問い合わせください。

もくじ

はじめに.....	2
登録商標について.....	2
著作権.....	2
本書の対象読者について.....	2
お願い.....	2
本書の表記方法について.....	3
シグナルワードの意味.....	3
絵記号の意味.....	3
使用期間、供給期限について.....	4
設計上の標準使用期間について.....	4
保守部品の供給期限.....	4
1 安全にお使いいただくために.....	7
1.1 運用上の注意.....	7
1.2 保守・点検時の注意.....	8
1.3 停電時の注意.....	9
1.3.1 停電する時間帯が事前に分かっている場合.....	9
1.3.2 急な停電の場合.....	9
1.4 製品銘板.....	9
2 製品概要.....	10
2.1 本製品の機能.....	10
2.2 特長.....	11
2.3 仕様.....	12
2.3.1 製品仕様.....	12
2.3.2 付属品.....	13
2.3.3 オプション品.....	14
2.4 各部の名称とはたらき.....	15
2.4.1 本体正面.....	15
2.4.2 本体背面.....	16
2.4.3 本体側面.....	16
2.4.4 センターカバー内.....	17
3 設置.....	18
3.1 設置の前に.....	18
3.1.1 設置の注意事項.....	18

3.1.2	設置スペース.....	19
3.1.3	開梱と梱包品の確認	20
3.2	設置の方法.....	21
3.2.1	壁に取り付ける	21
4	使用方法	23
4.1	ご使用前の準備.....	23
4.1.1	誘虫灯の装着を確認する.....	23
4.1.2	捕虫袋を確認する	24
4.1.3	誘引剤（オプション品）をセットする.....	26
4.1.4	コンセントに電源プラグを差し込む	27
4.2	起動方法	28
4.3	停止方法	28
4.4	カウンタをリセットする.....	29
5	点検・保守.....	30
5.1	本体の清掃.....	30
5.2	捕虫袋の交換.....	31
5.3	フィルターの洗浄と交換.....	34
5.4	誘虫灯の交換.....	36
5.5	誘引剤の交換（オプション）	40
5.6	ヒューズの交換.....	42
6	こんなときは.....	43
7	製品の保管および廃棄	45
7.1	長期間使用しない場合の保管について.....	45
7.2	製品の廃棄について	45
8	消耗品、オプション品リスト.....	46
8.1	消耗品	46
8.2	オプション品.....	46

1 安全にお使いいただくために

本項には、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しています。

正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上でお使いください。

1.1 運用上の注意



警告



- 本製品を本書に記載されている以外の用途では使用しないでください。製品の破損や故障ばかりでなく、けがや重大な事故が発生するおそれがあります。
- 電源コードを火に近づけたり、破損させないでください。ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。
- 指定された電源電圧以外では使用しないでください。製品の破損、発火事故の原因になります。
- 濡れた手で本体、電源プラグやコンセントに触れないでください。感電などの事故の原因になります。
- 電源プラグを抜くときには、電源コードを引っ張らないでください。感電やショートして発火することがあります。
- 電源プラグにほこりが付着したままで使用しないでください。
- 引火性ガスが発生する場所では、本体を使用しないでください。発火事故などの原因になります。
- 本製品の分解や改造はしないでください。製品の破損、火災や感電の原因になります。また、お客様による分解、改造された製品は、保証の対象外となります。
- お客様による修理はしないでください。製品の破損、火災や感電の原因になります。また、お客様により修理された製品は、保証の対象外となります。
- 本製品内部に液体や異物が入ってしまった場合は、すぐに電源プラグを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
- 本製品に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。火災や感電、故障の原因になります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合は、すぐに電源プラグを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。
- 幼児の手の届くところで使用しないでください。感電やけが、やけどのおそれがあります。

1 安全にお使いいただくために

 警告	 <ul style="list-style-type: none">・煙が出たり、異臭や異音がした場合は、すぐに電源プラグを抜き、使用を中止してください。そのまま使い続けると、火災や感電の原因になります。・設置場所および設置方法は、必ず「3 設置」に記載している事項に従ってください。
 注意	 <ul style="list-style-type: none">・薬品や有害なガスなどの影響を受ける環境では使用しないでください。本製品が腐食するおそれがあります。また、有害な薬品が付着することにより人体に害をおよぼすおそれがあります。・本製品を紙や布で覆ったり、燃えやすい物に近づけないでください。火災や製品が発熱し、火災の原因となります。  <ul style="list-style-type: none">・誘引剤は、幼児やペットの手が届かない、安全なところに保管してください。
注記	 <ul style="list-style-type: none">・汚れた場合は、中性洗剤をしみ込ませた清潔な布で軽く拭いてください。本製品は、防水構造ではありません。・温度差の激しい環境間を急に移動した場合、結露するおそれがあります。本製品は周辺温度 0~45 °C / 湿度 80 %RH 以下（結露しないこと）で使用してください。・誘虫灯の発光状態に異常が見られたときは、速やかに電源プラグをコンセントから抜き、ご使用を停止してください。・センターカバー用の鍵は、責任者のもと所定の保管場所を決めて、なくさないように保管してください。

1.2 保守・点検時の注意

 警告	 <ul style="list-style-type: none">・清掃や消耗品交換の際は、必ず電源スイッチを OFF (O) にしてコンセントから電源プラグを抜いて作業してください。・清掃および消耗品交換の際は「5 点検・保守」の該当項目に記載されている、注意事項と手順を守って作業してください。
 注意	 <ul style="list-style-type: none">・本製品を高所に取り付けている場合、保守・点検の際には適切な高さの台や脚立を使用し、転倒や落下に注意してください。・誘虫灯を扱う際は、落とさないように注意してください。誘虫灯の破損や破片の飛散によるけがのおそれがあります。

1.3 停電時の注意

本製品は、虫の逃走防止に配慮した設計となっておりますが、停電時に虫の種類により逃走が懸念される場合は下記の対応をお願い致します。

1.3.1 停電する時間帯が事前に分かっている場合

下記のいずれかの対応をお願い致します。

- 停電前に本体吸引口をテープで目張りしてください。また、復旧時には必ずテープを剥がしてください。テープを貼った状態での運転復帰は故障の原因となります。
- 停電前に捕虫袋の回収を行い、復旧時に再度取り付けてください。

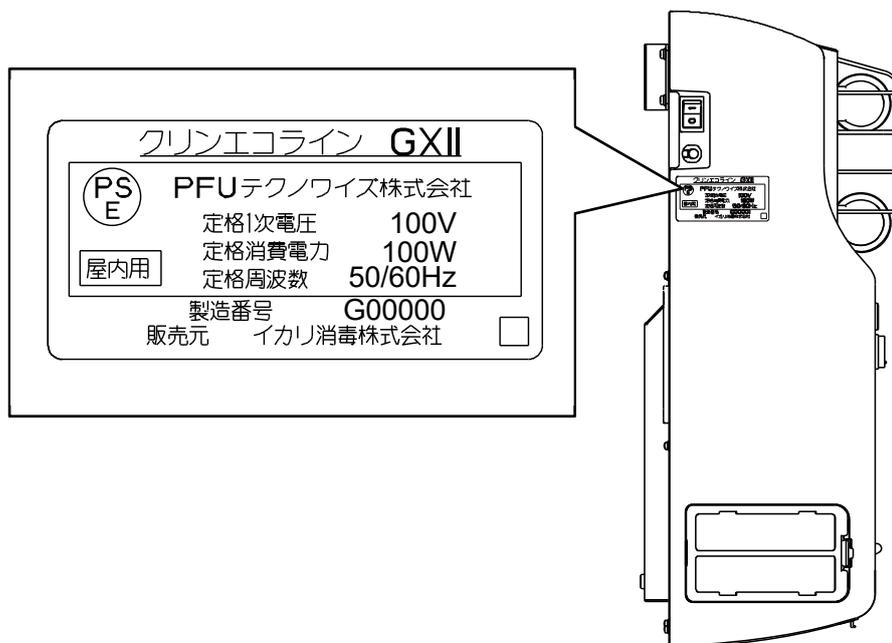
1.3.2 急な停電の場合

本体のセンターカバーを開き、捕虫袋を取り出してから殺虫処理をしてください。

1.4 製品銘板

製品銘板が剥がれたり、劣化して読み取れない状態になったりした場合は、当社にご連絡の上、新しい製品銘板を入手してください。入手した製品銘板は、以前と同じ場所に貼り付けてください。

本製品の製造番号、定格などを記載した銘板を、下図のように貼り付けています。



本体左側面

2 製品概要

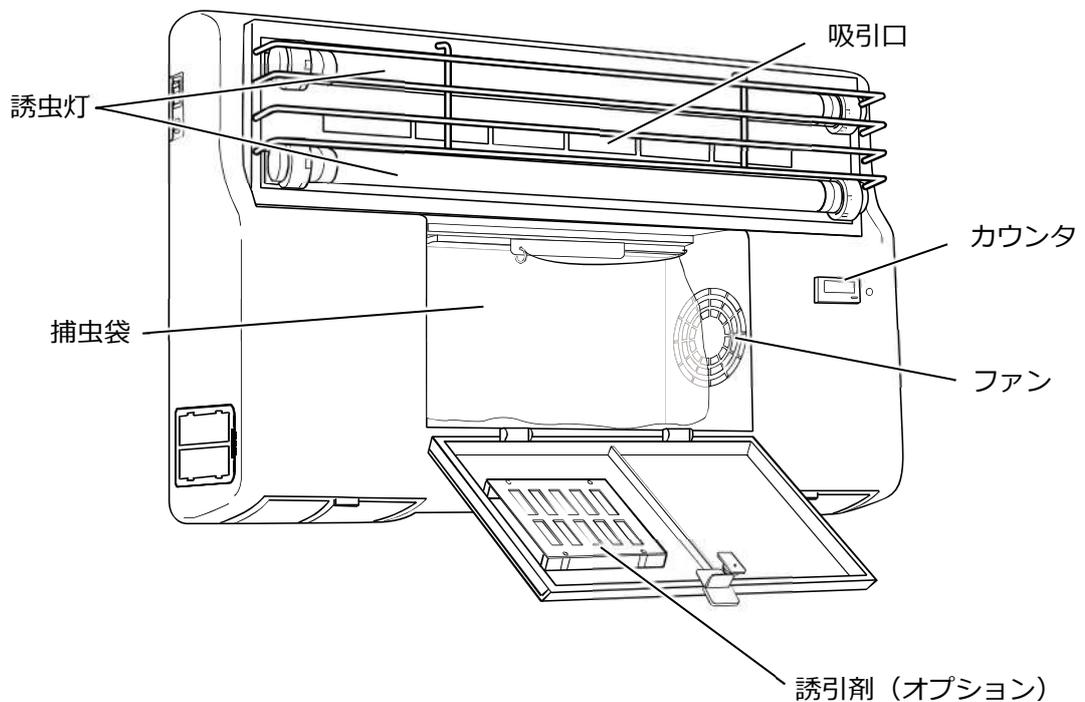
2.1 本製品の機能

本製品は、食品工場・レストラン・スーパーマーケットなどで問題となる、イエバエ、ノミバエ、ショウジョウバエなどの昆虫（飛翔性昆虫）を捕獲します。

誘虫灯は、昆虫学に基づき研究開発した最新鋭のLEDランプを採用しています。

また誘引された虫は、強力なファンによって吸い込まれ、吸引ボックス内に収納されている捕虫袋に回収されます。

吸引ボックス開口部にはセンサーがあり、吸引された虫は通過すると同時に自動的にカウントされ、本体正面にあるカウンタに表示されます。



2.2 特長

専用捕虫袋

専用の捕虫袋で微小な虫も確実にキャッチし、ジッパー付きで虫の掃除も簡単です。空気抵抗を極力少なくした設計で、効率良く虫を捕獲できます。

LED誘虫灯

昆虫学に基づき研究開発した最新鋭のLEDランプを採用し、捕獲性能に加え、20,000時間の長寿命設計と飛散防止性能が備わりました。

オリジナルランプカバー

誘虫灯は、光の拡散性を高めたフッ素素材のランプカバーで覆われていて、衝撃に強く割れにくい構造です。

吸引機能

4つの強力吸引ファンと自然な空気流路を新設計し、高い吸引力を実現しています。

カウント機能

高感度センサーを搭載し、捕獲した虫を確実にカウントします。

コンパクトな筐体

筐体は、コンパクトな設計で、丸みを帯びたやわらかい印象を与えます。把手もついて、楽に持ち運ぶことができます。

誘引剤入れ

オプション品の誘引剤を入れるポケット付きです。ハエ類の誘引に有効です。

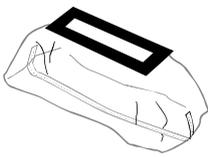
2 製品概要

2.3 仕様

2.3.1 製品仕様

項目	内容
名称	クリンエコラインGXⅡ
寸法	(幅) 720 mm × (高さ) 480 mm × (奥行) 195 mm
材質	ASA樹脂、SUS443
排気クリーン度	清浄度クラス 100,000
質量	約15 kg (取り付け金具別)
誘虫灯	エコトロン・ルアー (LED) × 2灯 耐用年数：2年
電源	AC 100V 50/60 Hz
消費電力	100 W
捕虫方式	ファンによる吸引式、捕虫袋
騒音	65 dB (無響音室ではない個室で本体を稼働させ、正面から1 mの地点で測定)
設置方法	壁付け (オプションにて簡易架台あり)
有効範囲	600 m ²
虫検知サイズ	0.7 mm以上 (当社実験データによるもので、保証値ではありません。)
電池	カウンタ用 (動作電池) リチウムボタン電池 1個 [オムロン型番：Y92S-36 (互換規格：CR2477)] ※お客様による交換不可
使用温度/湿度	0 ~ 45 °C/湿度 80 %RH以下 (結露しないこと)

2.3.2 付属品

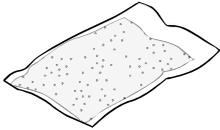
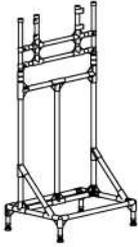
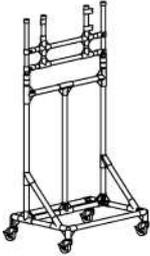
名称	外観	説明
誘虫灯 (消耗品)		エコトロン・ルアー Ver.1.02 × 2灯 (本体装着済み)
捕虫袋 (消耗品)		クリンエコラインGX II用捕虫袋 (ジッパー付) × 1枚
壁付け金具		クリンエコラインGX II用壁付け金具×1個
鍵		センターカバー施錠用の鍵 × 2
取扱説明書	本書	1冊

参照

消耗品の商品コード、商品名、仕様などは、「8 消耗品、オプション品リスト」を参照してください。

2 製品概要

2.3.3 オプション品

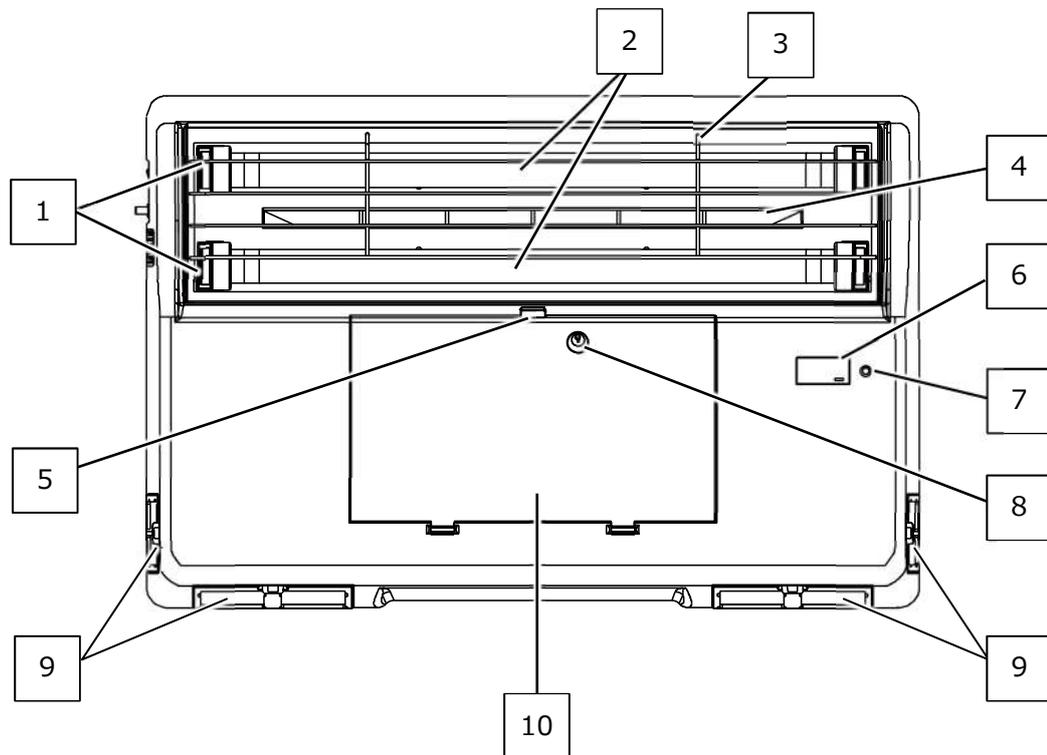
名称	外観	説明
誘引剤 (消耗品)		ネイテクノ・ルアーBSパック ×10包 主成分：タケノコ抽出成分 対象害虫： 大型バエ類（イエバエ類、ニクバエ類） コバエ類（ショウジョウバエ類他）
クリンエコラインGXⅡ用 簡易架台 アジャスター付き		イレクターパイプ式
クリンエコラインGXⅡ用 簡易架台 キャスター付き		イレクターパイプ式

参照

オプション品の商品コード、商品名、仕様などは、「8 消耗品、オプション品リスト」を参照してください。

2.4 各部の名称とはたらき

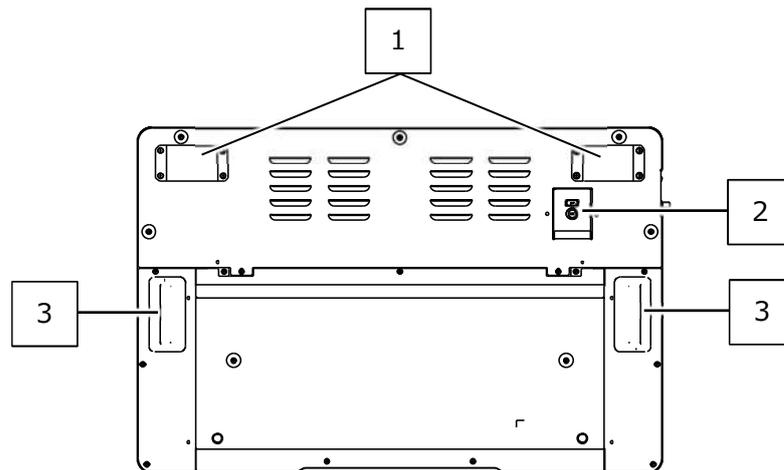
2.4.1 本体正面



No.	名称	説明
1	LED誘虫灯ソケット	誘虫灯を差し込みます。
2	誘虫灯	飛散防止仕様のLED誘虫ランプです。
3	保護格子	誘虫灯を保護します。
4	吸引口	内部の吸引ファンにより、ここから虫を吸引します。
5	センターカバー開閉フック	センターカバーを開けるときに、このつまみを引きます。
6	カウンタ	虫など何らかの物体が、センサー検知エリアを通過した回数を表示します。
7	電源ランプ	稼働時に点灯します。
8	鍵穴	センターカバー施錠用の鍵を差し込む穴です。
9	フィルター	排気空気の清浄用です。
10	センターカバー	捕虫袋や誘引剤を交換する際に開けます。

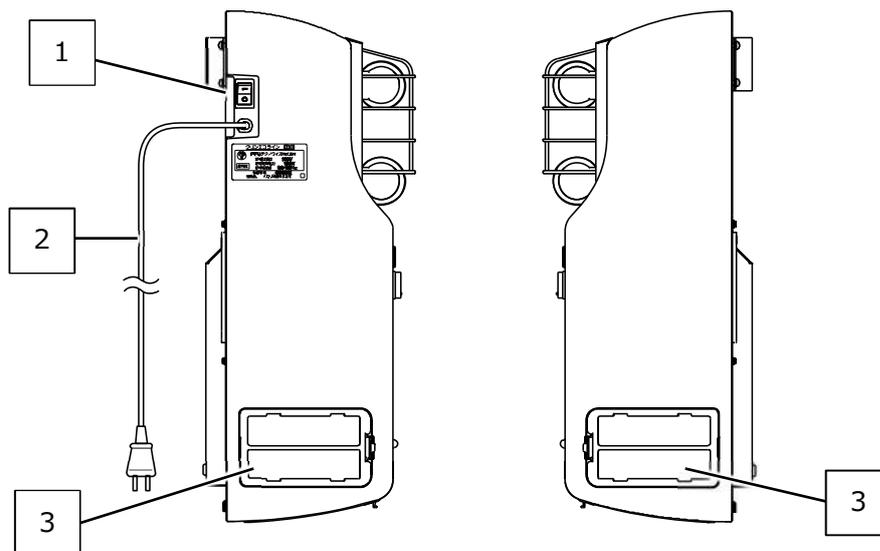
2 製品概要

2.4.2 本体背面



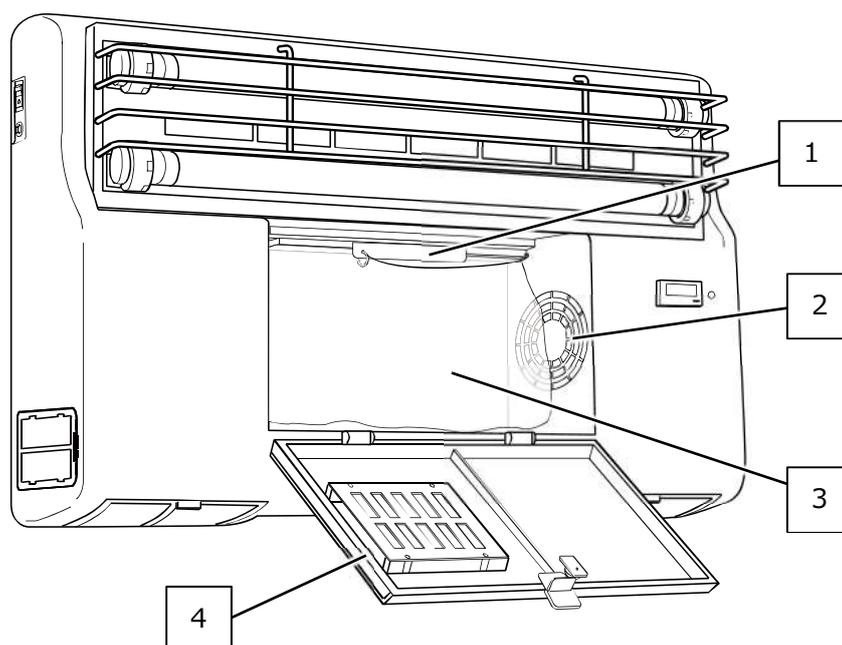
No.	名称	説明
1	壁付けフック	壁付け金具を差し込みます。
2	ヒューズ	6.3 Aの電源用ヒューズです。
3	把手	本製品を持ち運ぶ際は、ここを持ちます。

2.4.3 本体側面



No.	名称	説明
1	電源スイッチ	起動／停止を行うスイッチです。
2	電源コード	電源供給用の配線です。
3	フィルター	排気空気の清浄用です。

2.4.4 センターカバー内



No.	名称	説明
1	捕虫袋固定クリップ	捕虫袋を固定する金具です。
2	ファン	内部の左右側面および下面にある吸引用のファンです。
3	捕虫袋	捕獲した虫が入ります。虫の逃走を防止するため、捕虫袋は二重構造となっています。また、ジッパー付きのため、虫の廃棄や清掃が容易にできます。
4	誘引剤ポケット	誘引剤（オプション品）を収納するポケットです。

3 設置

3.1 設置の前に

3.1.1 設置の注意事項

設置にあたっては、下記の事項をお守りください。

 警告		<ul style="list-style-type: none"> 本製品の定格電圧は、100 V です。定格以外の電源を供給しないでください。
		<ul style="list-style-type: none"> 壁に取り付ける場合は、十分強度のある場所を選び、確実に設置してください。壁材に合わせて適切なアンカー、ビスを選んで取り付けてください。
 注意		<ul style="list-style-type: none"> 薬品や有害なガスなどの影響を受ける環境では使用しないでください。本製品が腐食するおそれがあります。また、有害な薬品が付着することにより人体に害をおよぼすおそれがあります。 本製品を横置きで使用しないでください。本製品は縦置きで使用するよう設計されています。 持ち運びの際は保護格子を持たないようにしてください。また、フィルター部に手をかけないようにしてください。
		<ul style="list-style-type: none"> 人や物がぶつからない場所および高さに設置してください。 本製品は屋内に設置してください。

屋内であっても、以下のような場所では使用しないでください。

使用温度、使用湿度の範囲外になる場所

使用温度範囲：0 ～ 45 ℃、使用湿度範囲：80 %RH 以下（結露しないこと）

水（導電性液体）により絶縁性能の劣化が発生する危険のある場所

噴霧水、水蒸気などのかかる場所に設置すると、絶縁性能の劣化、腐食などによる感電、火災のおそれがあります。

振動の激しい場所

故障または本体が落下するおそれがあります。

粉塵が多い場所

粉塵の多い場所に設置すると、吸引ファンの性能低下またはフィルターの目詰まりにより、捕虫能力が落ちるおそれがあります。

直射日光が当たる場所

故障や変形の原因になります。

粘着性の物がある場所

粘着性の高い物質から出る蒸気を長期間吸引すると、ファンに負荷がかかり故障する可能性があります。

ぐらついた台の上、傾いた場所、不安定な場所での使用

けが・故障・破壊・接触不良の原因になります。

可燃性ガスなどにより、爆発する危険のある場所

本品は防爆仕様ではありません。可燃性ガス雰囲気では使用しないでください。

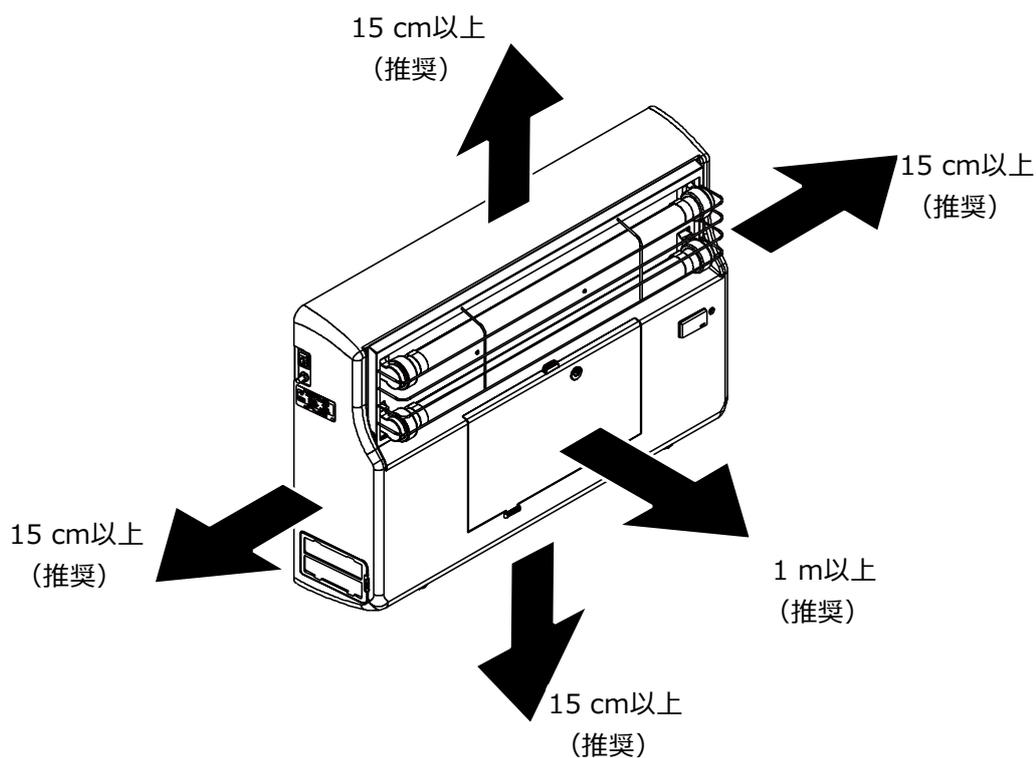
腐食性ガスなどにより、絶縁性能の劣化が発生する危険のある場所

腐食性ガスや溶液の発散する場所（※）に設置すると、絶縁性能の低下または導電性能が劣化し、感電や火災のおそれがあります。

※ 酸・アルカリ類、塩素酸、さらし粉、塗料もしくは、人造肥料の製造工場、銅・亜鉛などの製錬所、電気メッキ工場またはこれらに類する場所

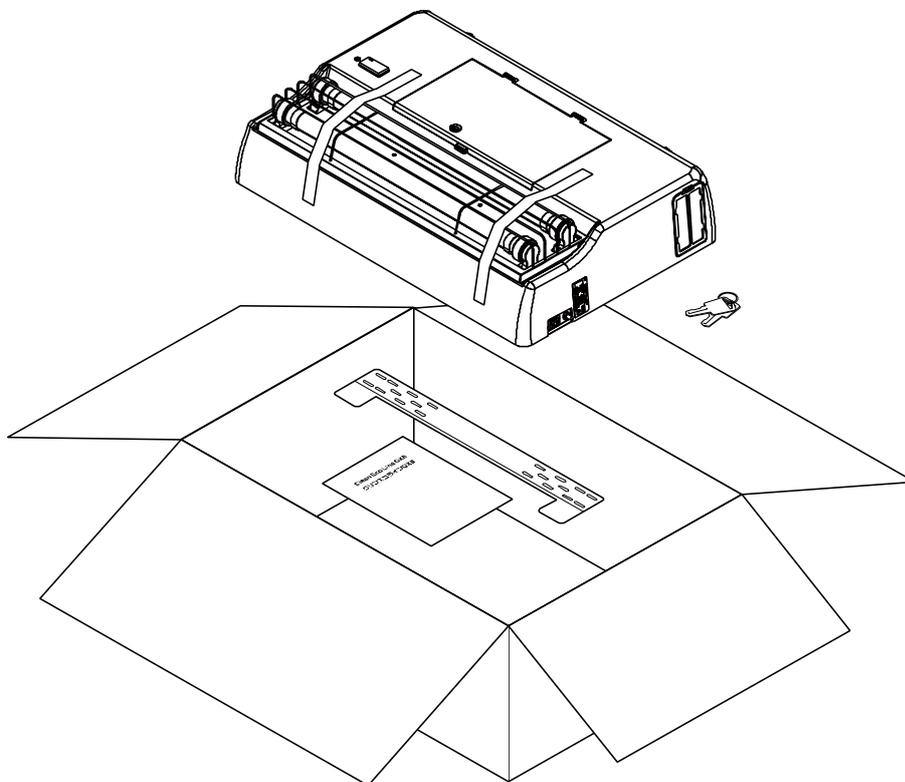
3.1.2 設置スペース

本製品の前、横、上下部は、以下のスペースを空けてください。



3.1.3 開梱と梱包品の確認

本製品は、段ボールにビニールおよび緩衝材で保護された状態で梱包して出荷します。製品到着後は段ボールを開けて、製品本体と共に「2.3.2 付属品」に記載されている品物がすべて揃っていることを確認してください。



注記



- 開梱時に本体の破損や付属品の欠品がある場合は、設置や使用をしないで当社までご連絡ください。
- 開梱後の段ボールや緩衝材は、再輸送のために保管しておくことを推奨しますが、廃棄する場合は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。
- 修理や移送のため再梱包する場合は、納入時と同等に段ボールの中に緩衝材を入れて、輸送中に破損しないように注意してください。

3.2 設置の方法

3.2.1 壁に取り付ける

 警告	 <ul style="list-style-type: none"> • 壁付け金具は、必ず付属の物を使用してください。付属品以外の金具を使用すると、本体の破損や落下によるけがを招くおそれがあります。 • 壁に取り付ける場合は、原則として専門工事業者に依頼してください。 • 壁付け金具は、必ず下地材または建物躯体にアンカーを打って取り付けてください。ボード類など仕上げ材料のみに取り付けると、落下のおそれがあります。
---	--

取り付けに先立ち、以下に記載している、壁の仕上げ材料、下地の材料、建物躯体の状況を確認してください。

確認後は、付属の壁付け金具に緩みのないよう、適切な方法で取り付けてください。

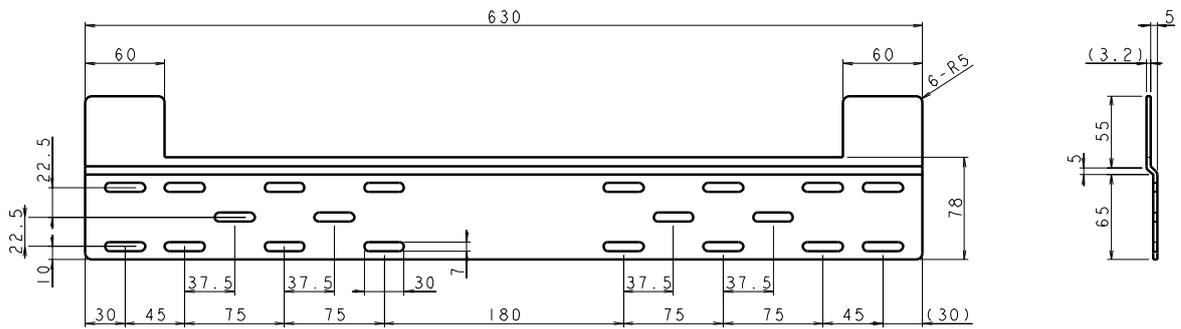
各下地に共通する確認事項

- 下地に最適なビス、ボルト類を選定する（φ5 mm以上を使用してください）
- ビス、ボルト類の強度は施工の良否により異なるので正確に取り付ける
- 下地材の材質、位置を測定器などにより確認する
- 仕上げ材、下地材、躯体などが確認できないときは、必ず図面で確認する
- ビス、ボルト類の設計強度は、表示強度の5分の1程度とする
- 地震時にも落下しないよう、横揺れにも配慮する
- スプリンクラー・報知器など、消防設備のそばには取り付けない

下地別取り付け確認事項

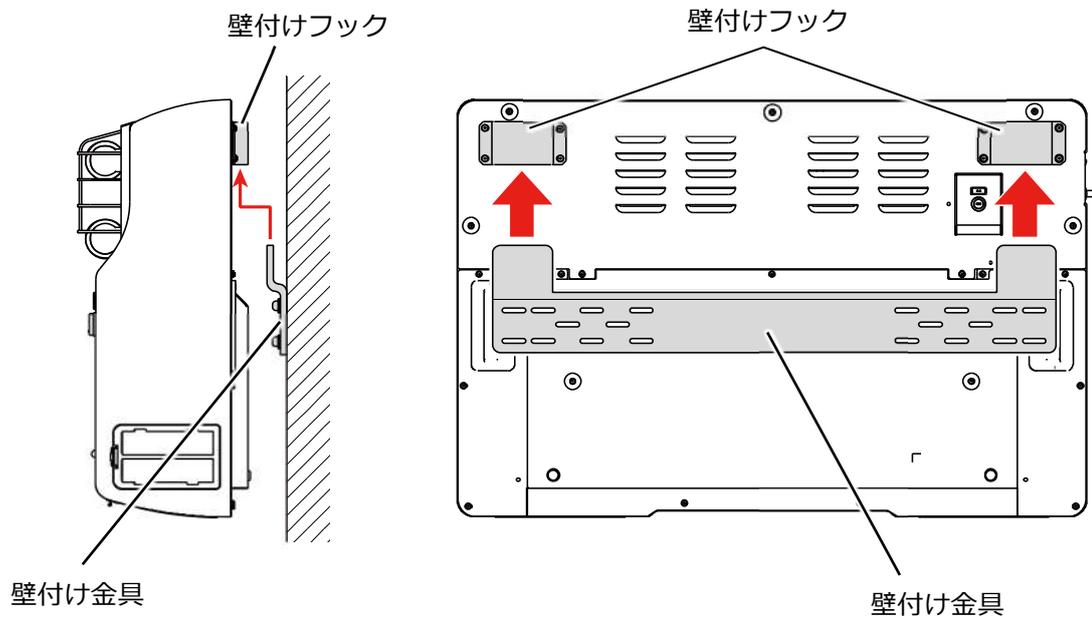
- コンクリート躯体に直接取り付ける場合
直接ビス、ボルト類にて固定する
- コンクリートにモルタル仕上げの場合
モルタル仕上げに浮きがないかを確認し、コンクリートに達するビス、ボルト類にて直接固定する
- コンクリートに石膏ボードが貼られている場合（GL工法）
コンクリートに達するビス、ボルト類にて直接固定する。または、取り付け用下地板をビス、ボルト類にて固定し、それに壁付金具を取り付ける
- 軽量鉄骨間仕切り下地
下地位置を確認し、ビス、ボルト類にて固定する
- ALC板下地（ALC：軽量発泡性コンクリート）
ALC板はもろいため、貫通型の座金付アンカー類で固定する。または、取り付け用下地板をビス、ボルト類にて固定し、それに壁付け金具を取り付ける
- 特殊な材料に取り付ける場合は、材料メーカーと協議する

壁付け金具の形状・サイズ (mm)



本体の取り付け

壁付け金具を壁に固定した後、壁付け金具に壁付けフックをしっかりと差し込んでください。

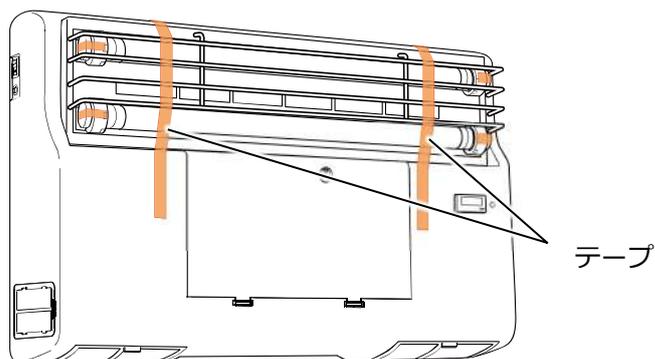


4 使用方法

4.1 ご使用前の準備

4.1.1 誘虫灯の装着を確認する

- 1 出荷時、保護格子はテープで留めてありますので剥がします。



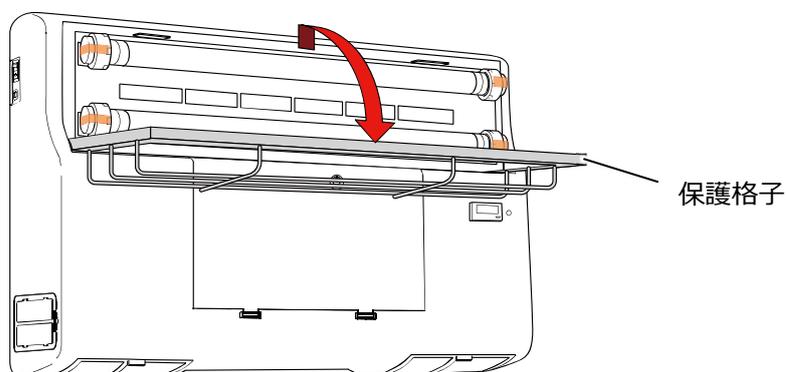
- 2 保護格子を5 mm程持ち上げて上部フックを外し、手前に開きます。



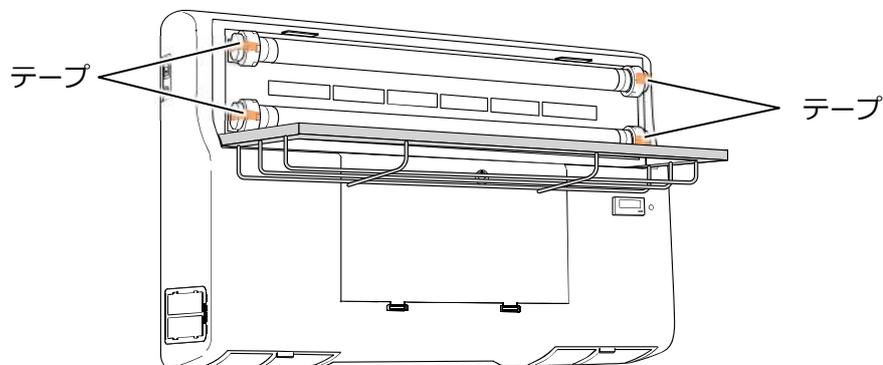
注意



・保護格子のエッジ部で、指などを切らないように注意してください。



- 3 出荷時、LED誘虫灯ソケットはテープで留めてありますので剥がします。

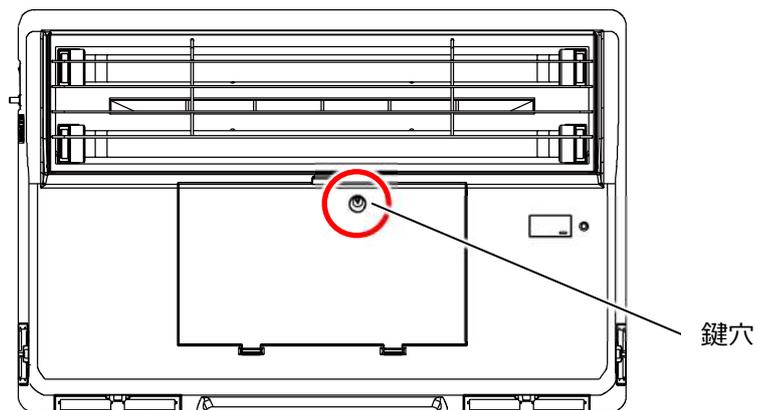


- 4 誘虫灯が外れていないか、ぐらつきがないか確認します。

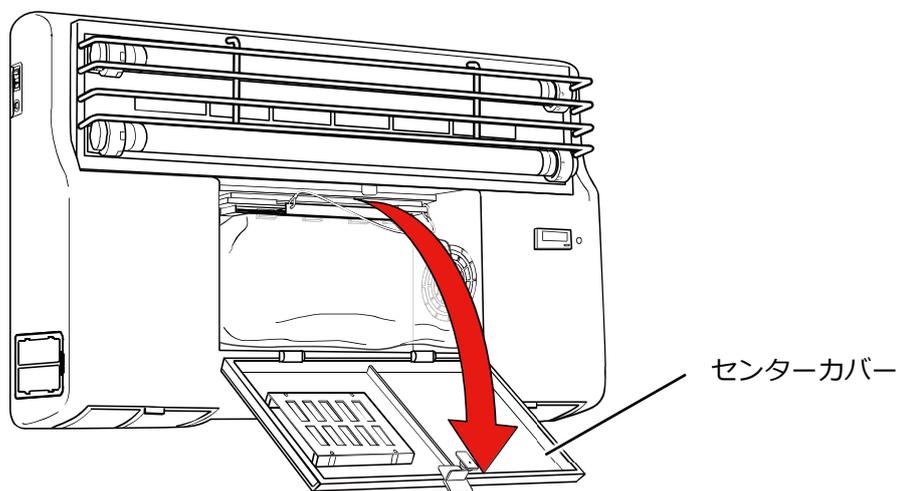
- 5 保護格子を元どおりに取り付けます。

4.1.2 捕虫袋を確認する

- 1 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠します。

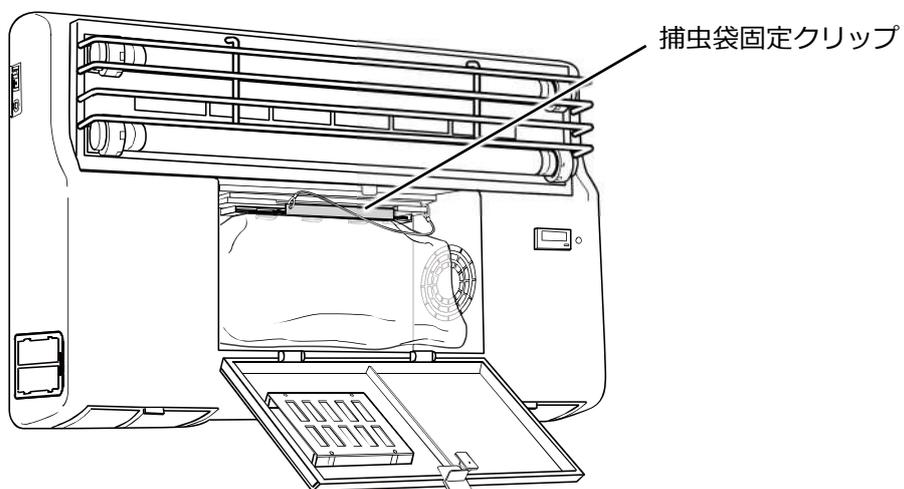


- 2 センターカバー開閉フックを手前に引いて、センターカバーを開けます。



- 3 捕虫袋が捕虫袋固定クリップでしっかり固定されていることを確認します。

メモ 捕虫袋が取り付けられていない場合や、捕虫袋固定クリップが固定されていない場合は「5.2 捕虫袋の交換」を参照し、捕虫袋を取り付けてください。



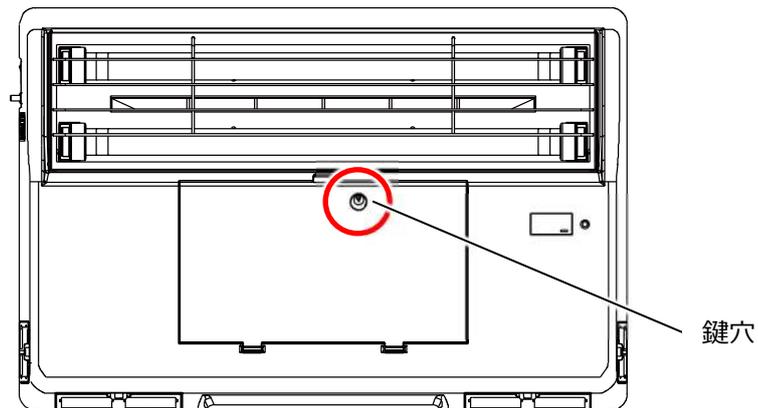
4 センターカバーを閉めます。

メモ このとき捕虫袋をはさまないようにご注意ください。

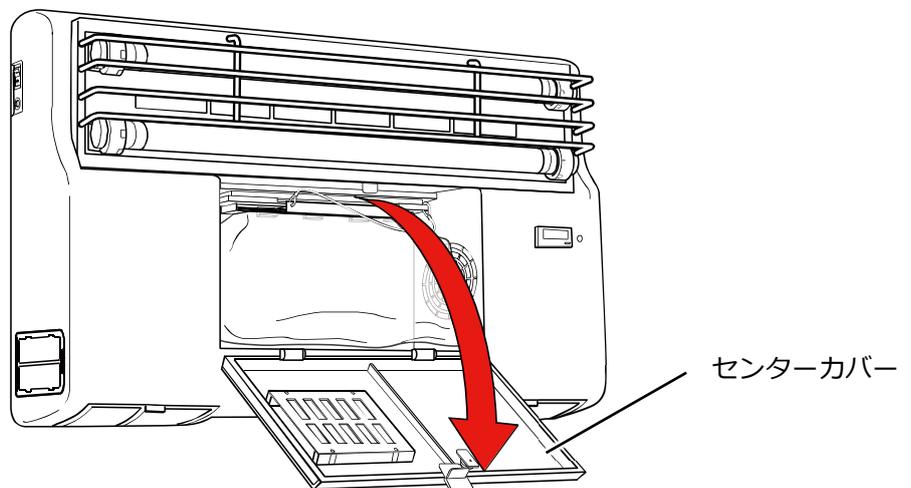
5 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、時計回りに回して施錠します。

4.1.3 誘引剤（オプション品）をセットする

- 1 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠します。

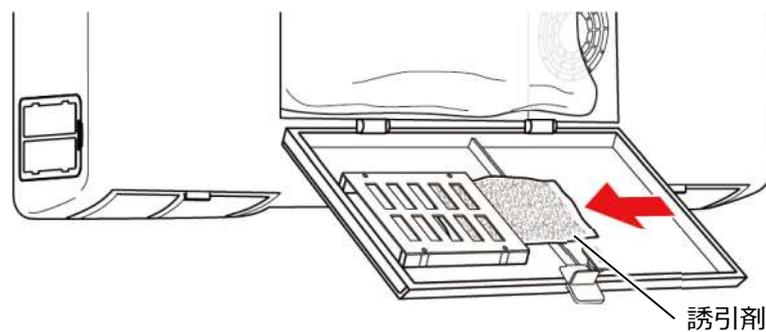


- 2 センターカバー開閉フックを手前に引いて、センターカバーを開けます。



- 3 誘引剤ポケットへ誘引剤（1～2包）をセットします。

メモ 不織布の袋は破らずに、そのままご使用ください。



- 4 センターカバーを閉めてください。

メモ このとき捕虫袋をはさまないようにご注意ください。

- 5 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、時計回りに回して施錠します。

参照 誘引剤の取り扱いは、誘引剤に付属しているラベルを参照してください。

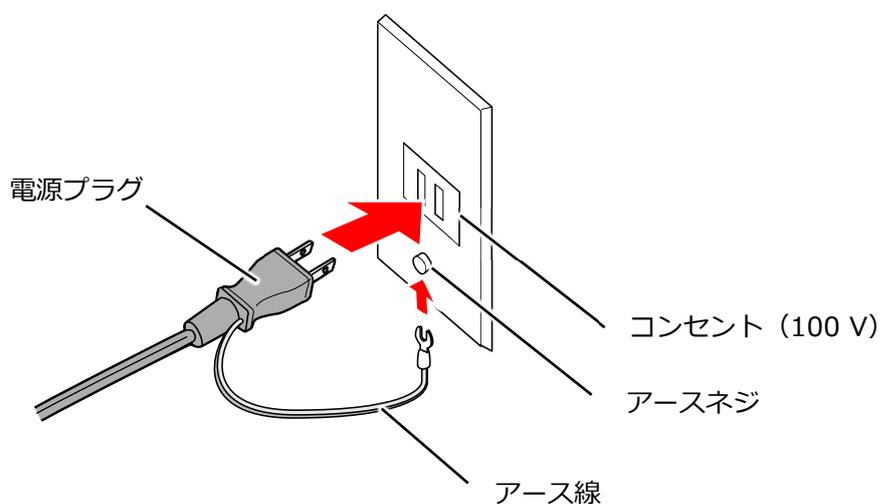
4.1.4 コンセントに電源プラグを差し込む

 警告		・濡れた手で本体、電源プラグやコンセントに触れないでください。感電などの事故の原因になります。
		・電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をコンセントのアースネジへ接続してください。アース接続しないで使用すると、万一、漏電した場合に、感電の原因となります。

メモ

アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、電気工事業者に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。

1 アース線をコンセントのアースネジに接続します。

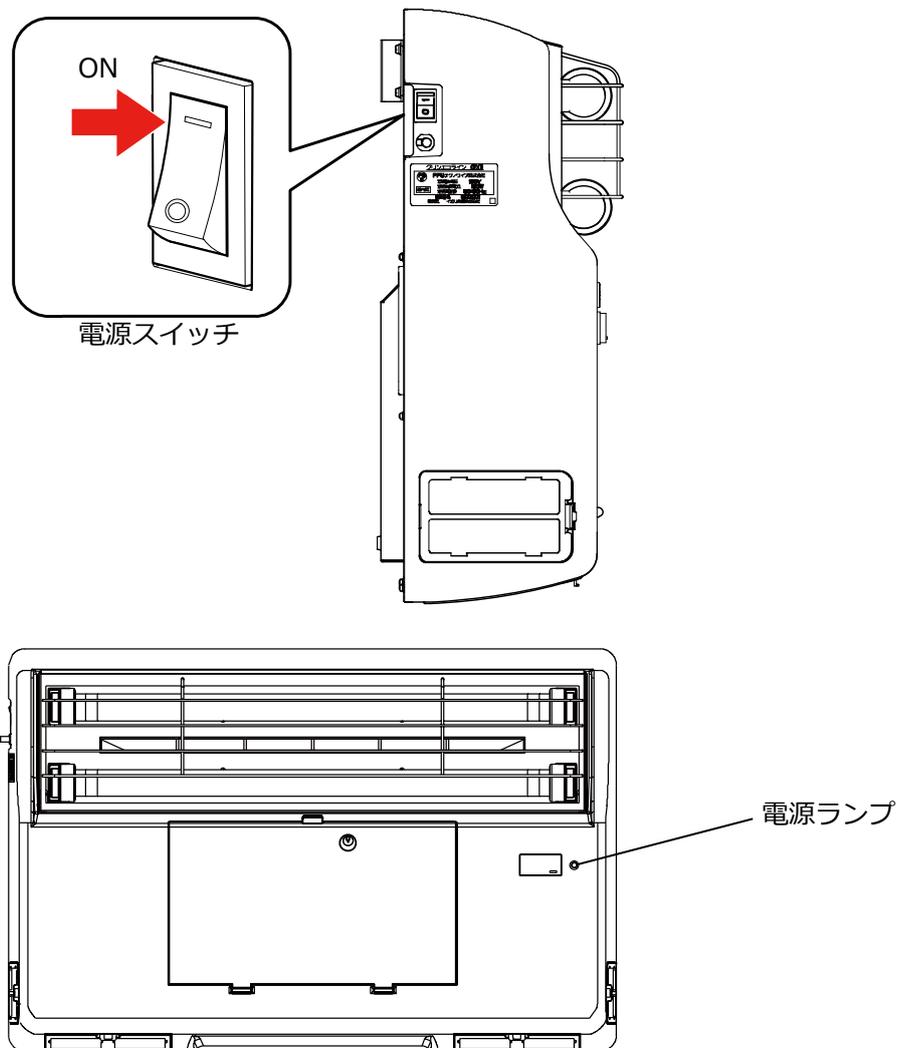


2 100 Vのコンセントに電源プラグを差し込みます。

4.2 起動方法

- 1 電源スイッチを入れる前に、「4.1 ご使用前の準備」の記載項目が完了していることを確認します。
- 2 本体の左側面の電源スイッチをON（|）にしてください。

メモ 稼働中は、電源ランプが点灯します。



- 3 ファンが運転を開始し、誘虫灯が点灯していることを確認します。

メモ ファンが回転しない、誘虫灯が点灯しないなどの不具合がある場合は、無理に使用せず、「6 こんなときは」を参照し、対策をとってください。

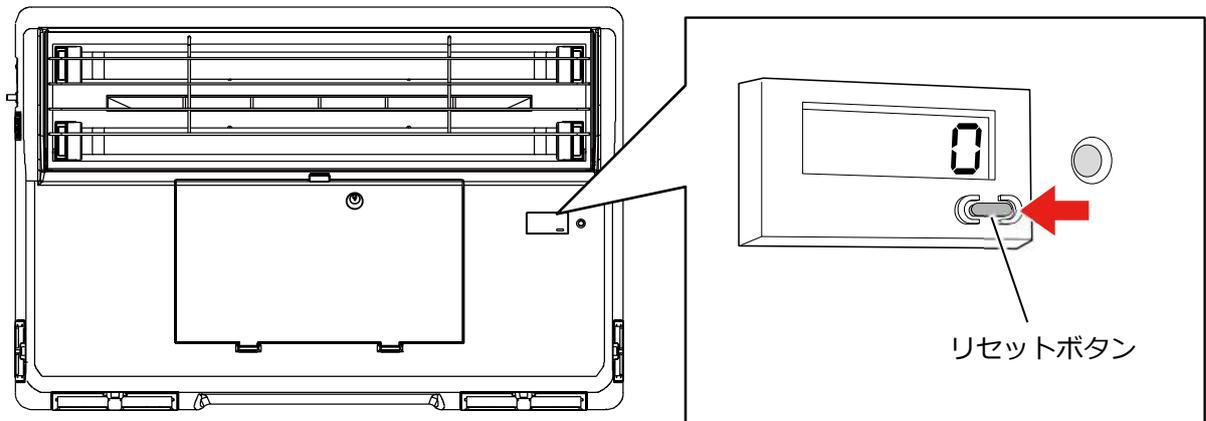
4.3 停止方法

- 1 本体の左側面の電源スイッチをOFF（○）にしてください。

メモ 電源ランプ、誘虫灯が消灯し、ファンが停止します。

4.4 カウンタをリセットする

カウンタの数値を0にする場合は、リセットボタンを押してください。



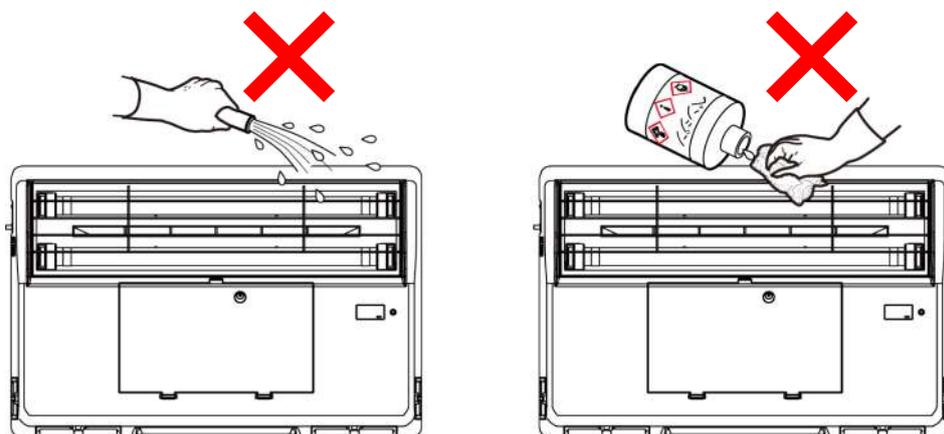
5 点検・保守

5.1 本体の清掃

点検・保守の周期：1か月ごと

清掃方法

 警告	 <ul style="list-style-type: none">・本製品に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。・LED 誘虫灯ソケットの樹脂部には、水・洗剤・薬品などは使用しないでください。部品の劣化や感電の原因となります。
注記	 <ul style="list-style-type: none">・本体表面をガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールなどの揮発性の物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色・変形の原因となります。



製品の汚れは乾いた布、またはぬるま湯・中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞って拭いてください。最後は乾燥した布で水分をふき取ってください。

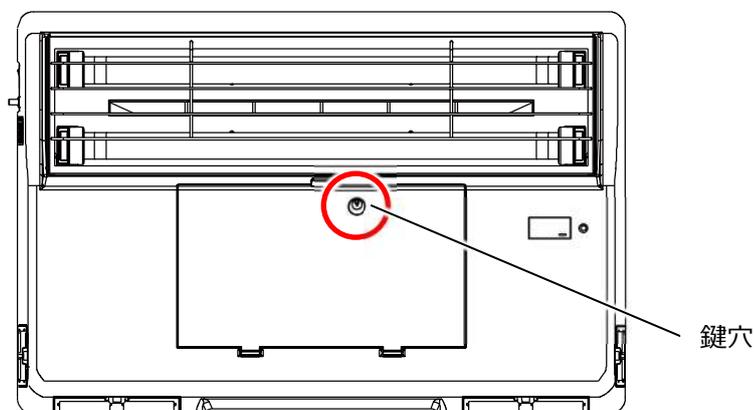
5.2 捕虫袋の交換

点検・保守の周期：1か月ごと（捕獲量などにより決めてください。）

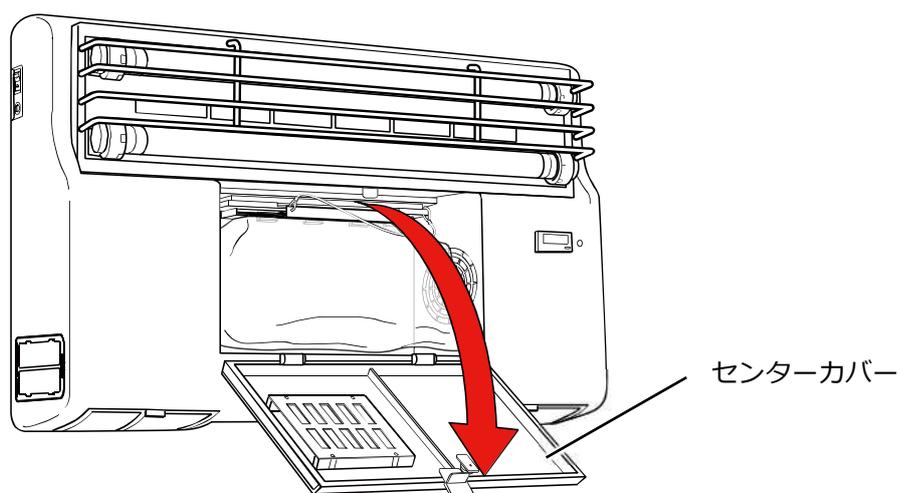
 警告		<ul style="list-style-type: none"> 捕虫袋を交換するときは、電源スイッチを OFF (O) にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。
注記		<ul style="list-style-type: none"> 虫の入った捕虫袋をそのまま持ち歩かないでください。虫体や破片が飛散するおそれがあります。 捕虫袋の回収時は、チャック付ポリ袋や大きめのポリ袋など、口が閉じられる袋に回収してください。
		<ul style="list-style-type: none"> 捕虫袋は、必ずクリンエコライン GXII 専用の捕虫袋をご使用ください。

交換方法

- 1 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠します。

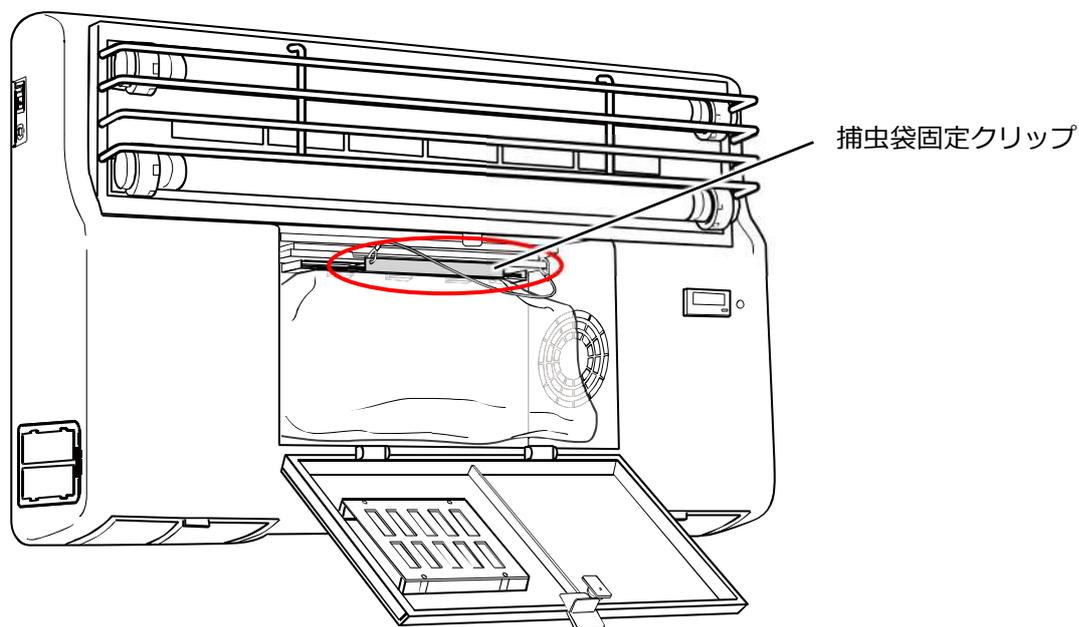


- 2 センターカバー開閉フックを手前に引いて、センターカバーを開けます。

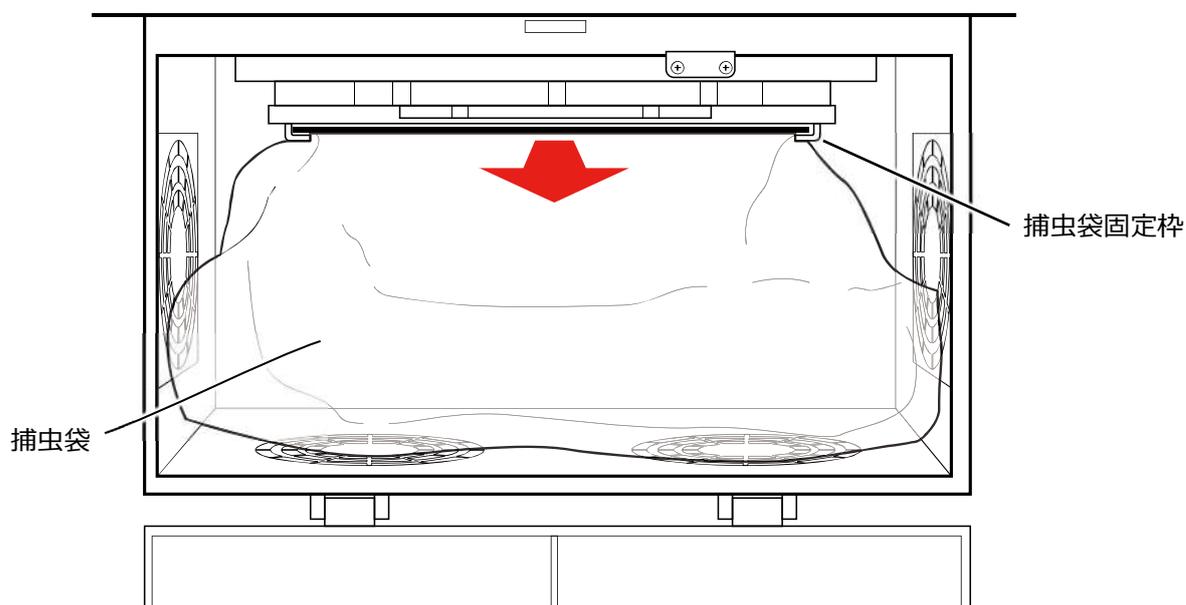


3 捕虫袋固定クリップを外します。

注意  **注意**  捕虫袋固定クリップのエッジ部分で指や手を切らないよう、取り扱いに注意してください。



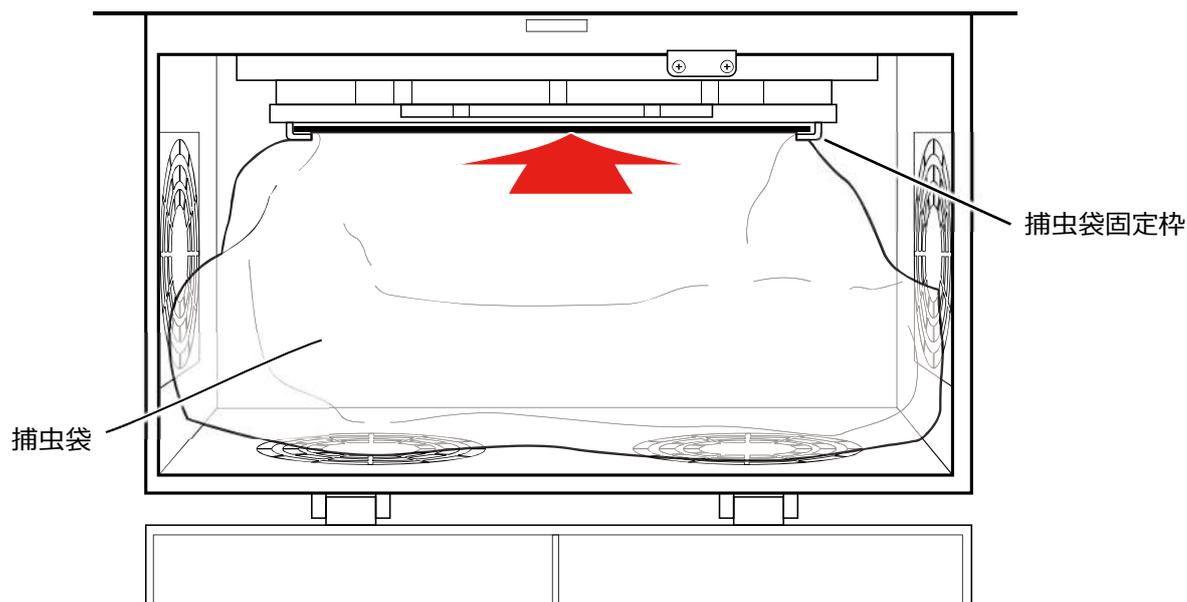
4 古い捕虫袋を手前にスライドさせて取り出します。



5 取り出した捕虫袋は、ジッパーを開けて虫を掃除します。汚れがある場合は、洗浄して再利用できます。

注記  **注記** 捕虫袋を洗浄した後は、完全に乾かしてから再利用してください。

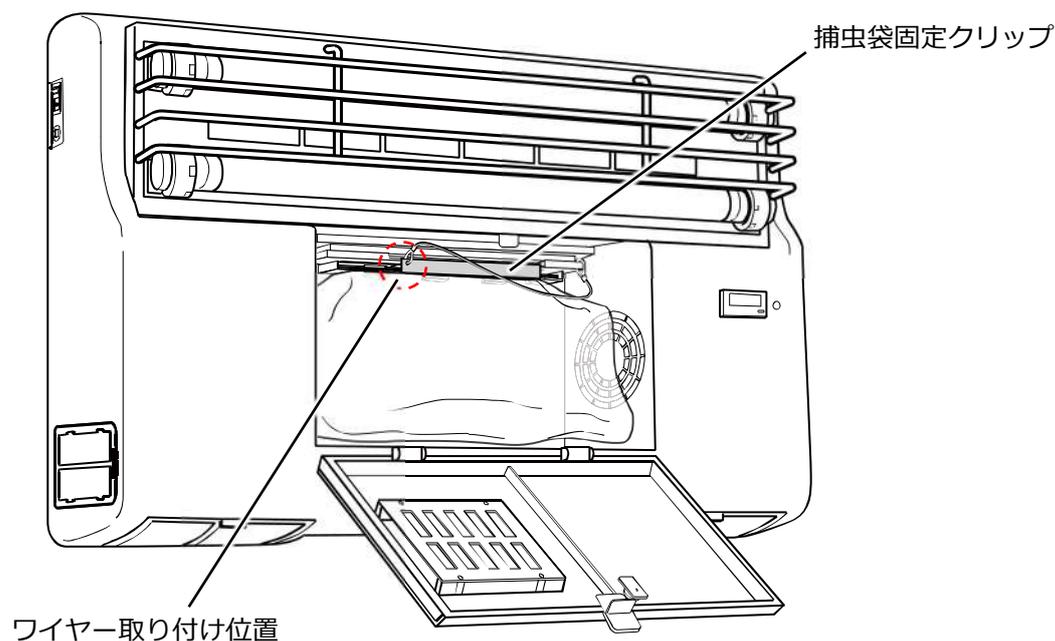
6 捕虫袋を捕虫袋固定枠に沿って差し込みます。



7 捕虫袋固定クリップで捕虫袋を留めます。

メモ

このとき、捕虫袋固定クリップのワイヤー取り付け位置が左側になるように取り付けてください。



8 センターカバーを閉めます。

メモ

このとき捕虫袋をはさまないようにご注意ください。

9 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、時計回りに回して施錠します。

以上で捕虫袋の交換は完了です。

5.3 フィルターの洗浄と交換

点検・保守の周期：1か月ごと。（交換は、汚れ具合により決めてください。）

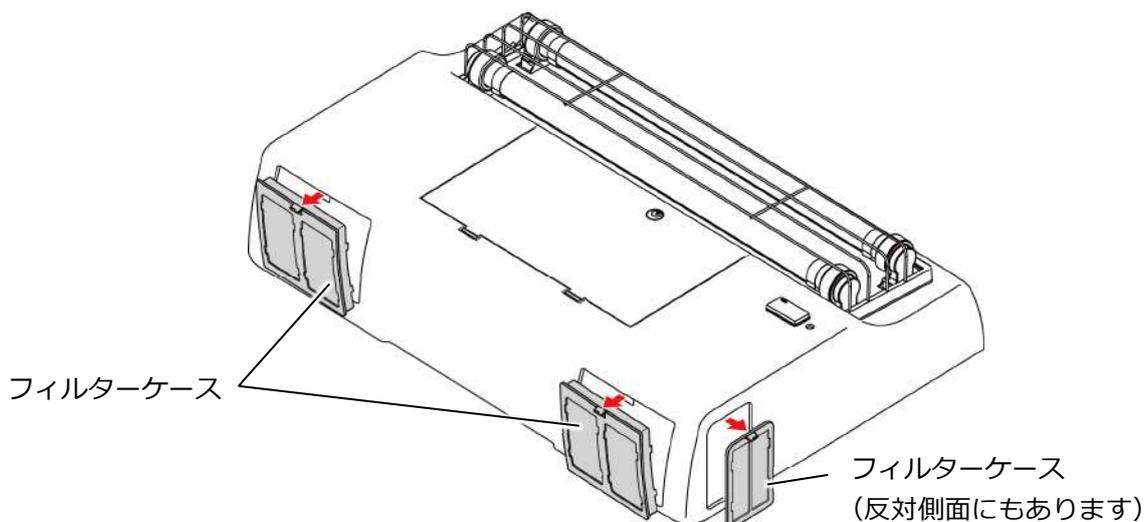
※再利用の限度は3回程度が目安です。

 警告	 <ul style="list-style-type: none">・フィルターを交換するときは、電源スイッチを OFF (O) にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。
注記	 <ul style="list-style-type: none">・フィルターを洗浄する場合は、もみ洗いしたり強く絞ったりしないでください。  <ul style="list-style-type: none">・フィルターは、目視で汚れがない場合でもほこりなどで目詰まりし、吸引力の低下やファンが故障する原因となります。フィルターの点検・保守の周期にそって、洗浄と交換を行ってください。・回収時は塵埃などの飛散防止のため、口が閉じられる袋に回収するようにしてください。

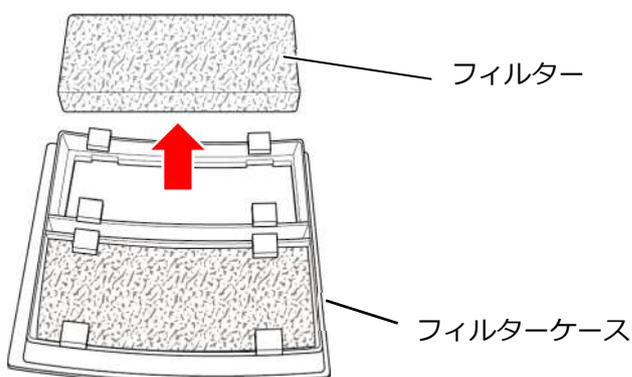
交換方法

フィルターは、左右の側面と下部にあります（計4箇所）。フィルター交換は、4箇所ともに行ってください。

1 フィルターケースのツメを押しながら取り外します。



2 フィルターをフィルターケースから取り外します。



- 3 汚れている場合は、中性洗剤などを使用して洗浄します。
汚れや劣化が著しい場合は、新しいフィルターと交換してください。

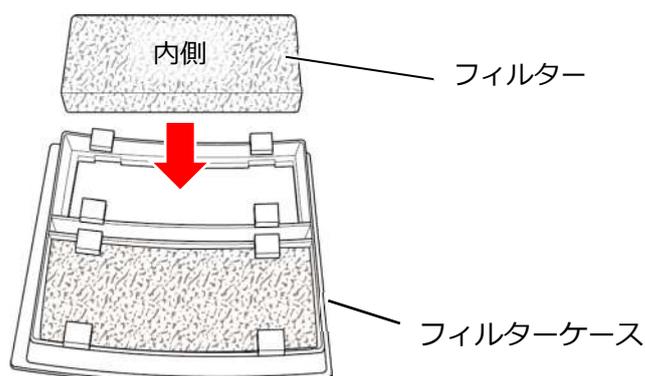
注記

・フィルターを洗浄した後は、完全に乾かしてから再利用してください。

- 4 洗浄したフィルター（または、新しいフィルター）をフィルターケースに装着します。

メモ

- ・本体下部、本体側面ともに、クリンエコライン GX II 用交換フィルターをご使用ください。
- ・フィルターは、手触りのやわらかい面（目の粗い面）が製品の内側になります。



- 5 フィルターケースを本体に装着します。

メモ

このとき、ケースが確実にロックされるよう、ケースのツメ側を「カチッ」と音がするまで本体に押し付けてください。ツメを目視して、確実にロックされているか確認してください。

以上でフィルターの洗浄と交換は完了です。

5.4 誘虫灯の交換

交換の周期：2年ごと（定格寿命：20,000時間）

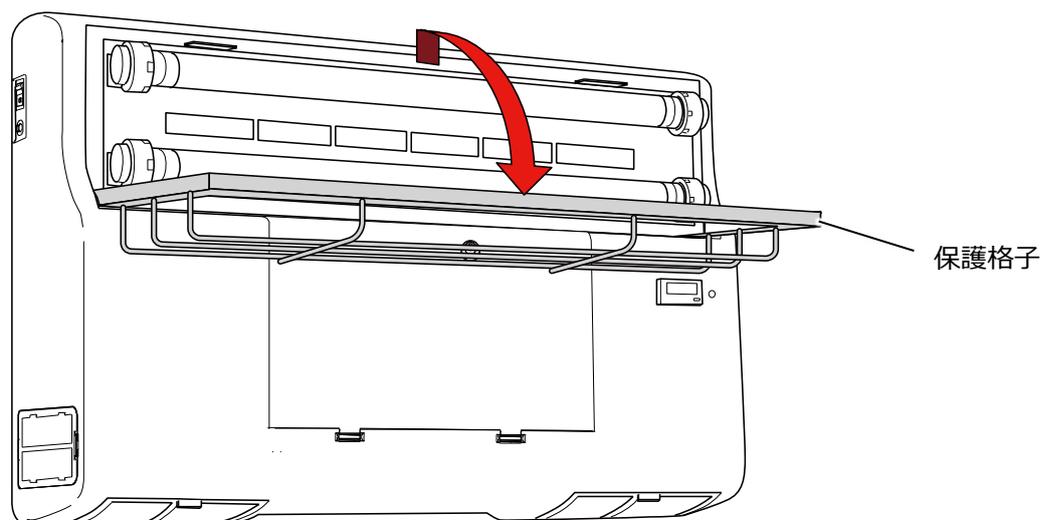
※長期間使用しますと誘引効果が減少します。早めの交換をお勧めします。

- | | | |
|---|---|--|
|  警告 |  | <ul style="list-style-type: none">・ 誘虫灯を交換するときは、電源スイッチをOFF（O）にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。電源をOFFにした直後は誘虫灯が熱いのでご注意ください。 |
|  注意 |  | <ul style="list-style-type: none">・ 誘虫灯を扱う際は、落とさないように注意してください。誘虫灯の破損や破片の飛散によるけがのおそれがあります。 |
| 注記 |  | <ul style="list-style-type: none">・ 誘虫灯は、必ず当社指定の物を使用してください。指定外の物を使用すると、誘虫灯の寿命短縮や製品の故障の原因となります。 |

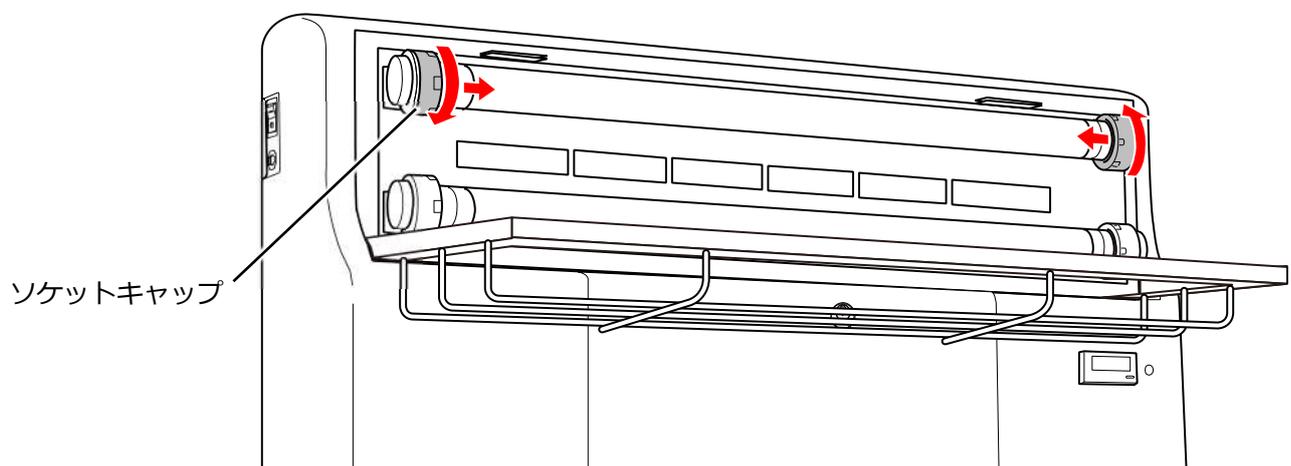
交換方法

- 1 保護格子を5 mm程持ち上げて上部フックを外し、手前に開きます。

- | | | |
|---|---|---|
|  注意 |  | <ul style="list-style-type: none">・ 保護格子のエッジ部で、指などを切らないように注意してください。 |
|---|---|---|

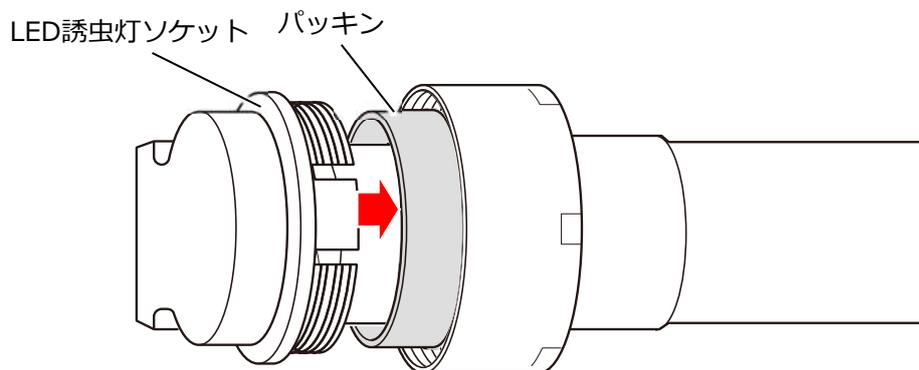


- 2 誘虫灯の左右にあるソケットキャップを、反時計回りに回して内側にずらします。

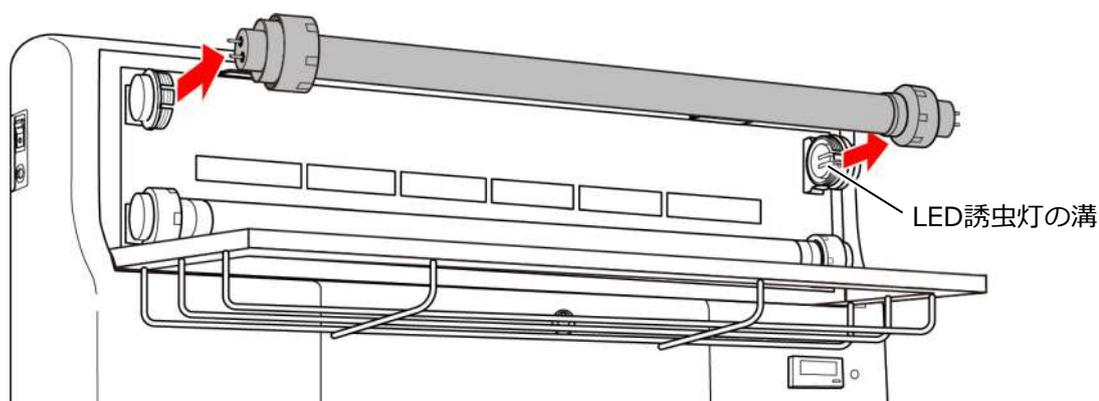


3 パッキンを下図のようにずらします。

メモ パッキンがLED誘虫灯ソケット側に入っていると、誘虫灯は外れません。入力側・出力側ともにずらしてください。



4 誘虫灯の端子を、LED誘虫灯ソケットの溝に沿って引き出します。

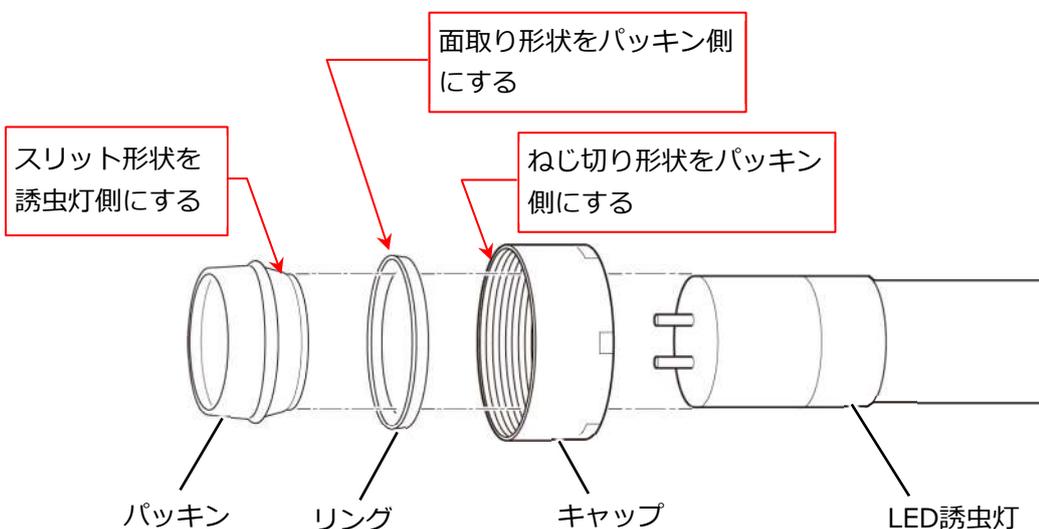


5 新しい誘虫灯に、キャップ、リング、パッキンの順に通します。

注記



・キャップ、リング、パッキンには、それぞれ向きがあります。必ず下図のように取り付けてください。

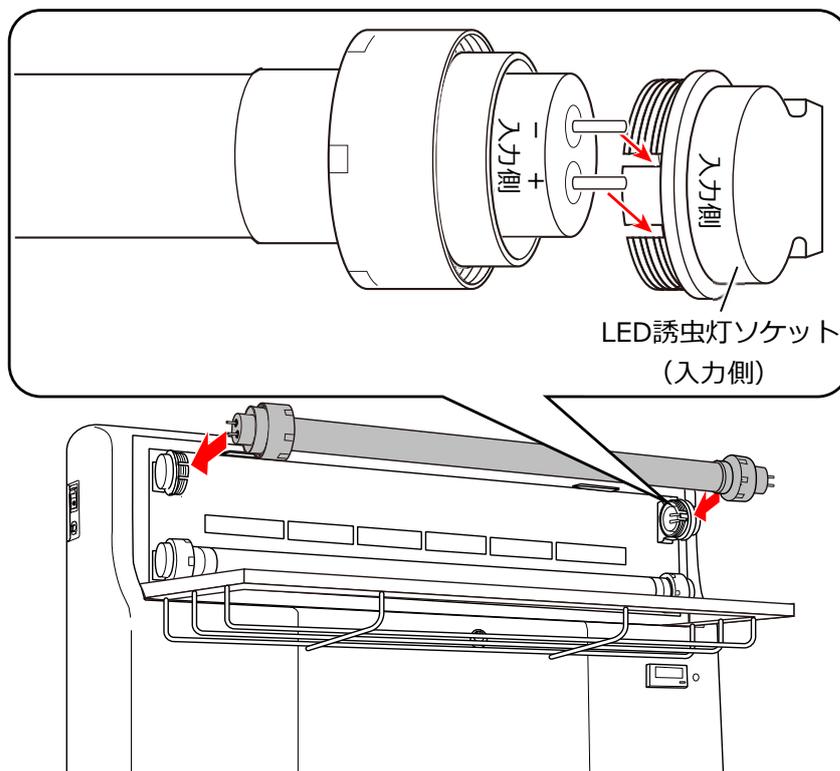


- 6 誘虫灯の「入力側」の記載がある方を、「入力側」と記載のあるLED誘虫灯ソケットに合わせます。誘虫灯の両端のピンをLED誘虫灯ソケットの溝に入れ「カチッ」と音がするまで押し込み、誘虫灯を装着します。

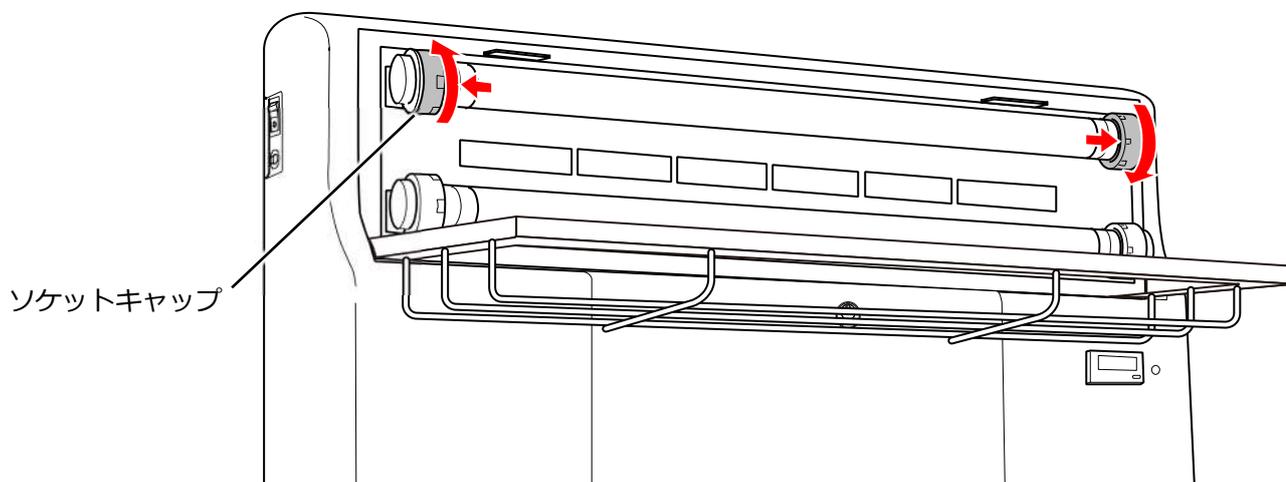
注記



・ LED 誘虫ランプは、極性が合っていないと点灯しません。必ず「入力側」と記載のある方を、LED 誘虫灯ソケット（入力側）に合わせて装着してください。



- 7 誘虫灯が外れていないか、また、ぐらつきがないか確認します。
- 8 誘虫灯の左右にあるソケットキャップを、時計回りに回し外側にずらしながら締めます。



9 もう1本の誘虫灯も同様に交換します。

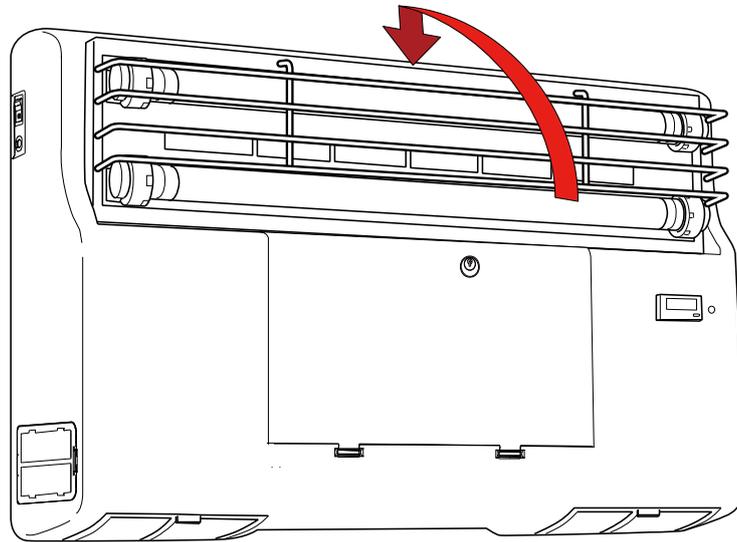
10 保護格子を閉めます。



注意



・ 保護格子のエッジ部で、指などを切らないように注意してください。



以上で誘虫灯の交換は完了です。

5.5 誘引剤の交換（オプション）

点検・保守の周期：1か月（1～2個）

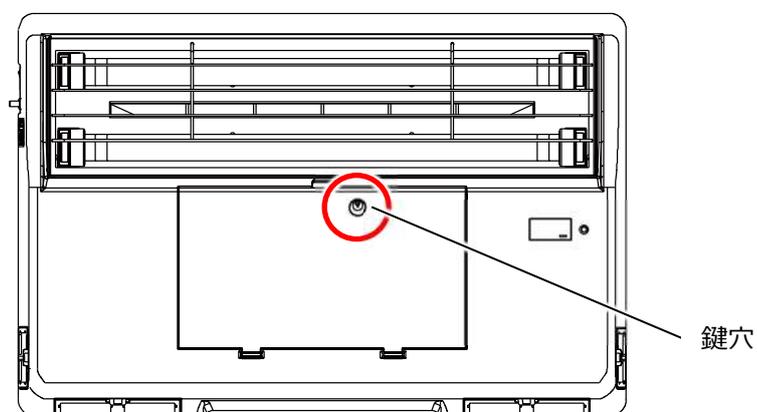
※誘引剤の取り扱いは付属ネイテクノ・ルアーBSパックのラベルを参照してください。

 警告	 ・ 誘引剤を交換するときは、電源スイッチを OFF (O) にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。
---	---

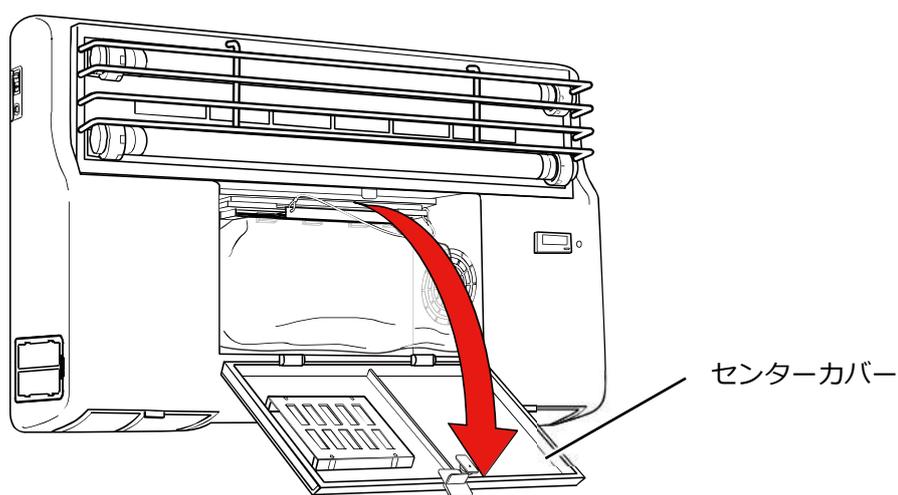
注記	 ・ 誘引剤は、イカリ消毒オリジナル（ネイテクノ・ルアーBSパック）を使用してください。
-----------	---

交換方法

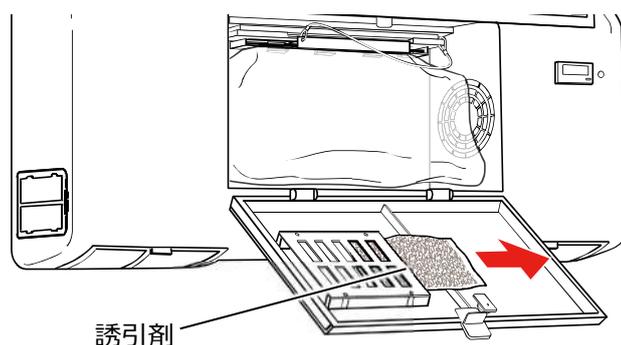
- 1 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、反時計回りに回して解錠します。



- 2 センターカバー開閉フックを手前に引いて、センターカバーを開けます。

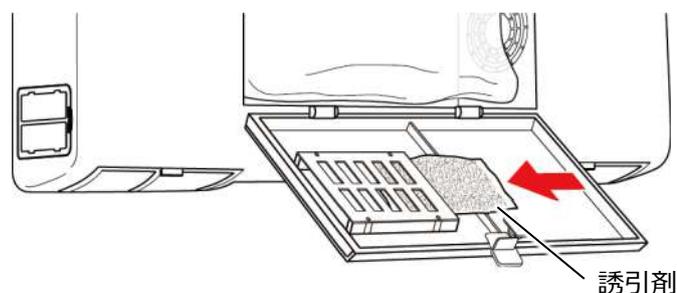


- 3 センターカバーを手前に開け、センターカバー裏にある誘引剤ポケットから古い誘引剤を取り出します。



- 4 取り出した誘引剤を、チャック付ポリ袋などに入れて回収します。
- 5 誘引剤ポケットへ新しい誘引剤（1～2包）を入れます。

メモ このとき、袋が破けたりしないよう注意してください。



- 6 捕虫袋をはさまないように注意しながら、センターカバーを閉めます。
- メモ** このとき、捕虫袋をはさまないようにご注意ください。
- 7 センターカバーにある鍵穴にキーを差し込み、時計回りに回して施錠します。
- メモ** センターカバーに鍵が掛かっていることを確認してください。

以上で誘引剤の交換は完了です。

5.6 ヒューズの交換

点検・保守の周期：ヒューズが切れたとき



警告



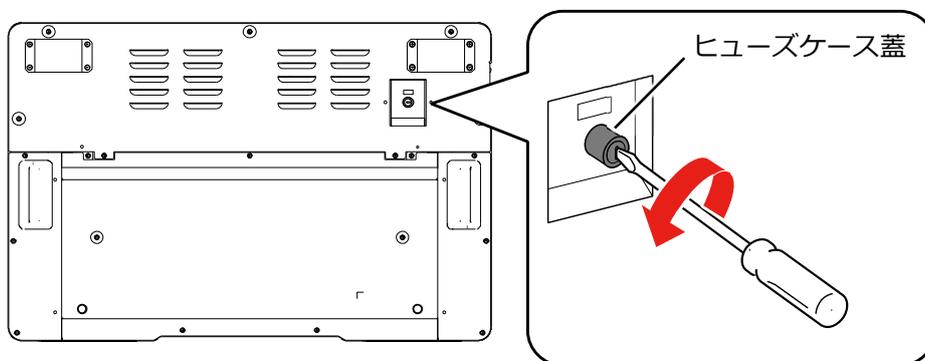
・ヒューズを交換するときは、電源スイッチを OFF (O) にして、コンセントから電源プラグを抜いて作業してください。

メモ

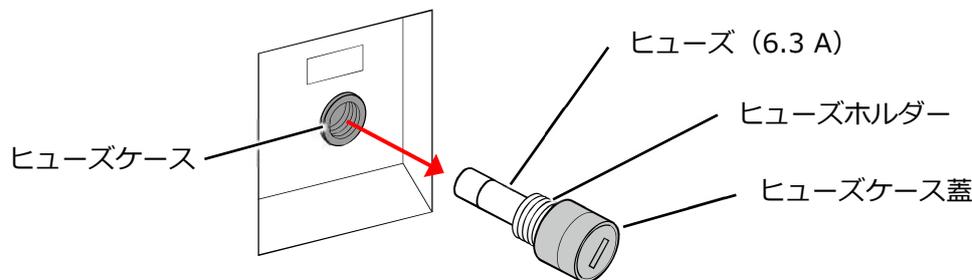
ヒューズの交換は、当社のサービス担当者が行います。ヒューズが切れたと思われる場合は、当社にご連絡ください。

交換方法

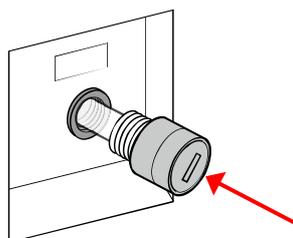
- 1 電源スイッチをOFFにして、コンセントから電源プラグを抜きます。
- 2 本体を壁から取り外します。
- 3 マイナスドライバーを使用し、ヒューズケース蓋を反時計回りに回して取り外します。



- 4 ヒューズケースから古いヒューズを取り外します。



- 5 新しいヒューズをヒューズホルダーに差し込みます。
- 6 ヒューズケースにヒューズ、ヒューズホルダー、ヒューズケース蓋を取り付けます。



- 7 マイナスドライバーを使用し、ヒューズケース蓋を時計回りに回して締めます。
- 8 本体を壁付け金具にかけます。

以上でヒューズの交換は完了です。

6 こんなときは

本製品を運用中に下表に記載の現象が発生した場合は、原因と対策を参照の上、適切に対処してください。

下表に記載の対処を行っても解決しない場合や、下表に記載のない不具合が発生した場合は、運用を停止し、当社にご連絡ください。

注記		<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送時の取り扱いの不備が考えられる場合（開梱時に梱包箱の外傷や本体の変形が見られた場合など）は、製品到着後 1 週間以内に輸送業者に連絡を取り、輸送状況を確認してください。輸送業者に瑕疵がない場合は、当社までご連絡ください。
-----------	---	--

No.	現象	原因	対策
1	スイッチをONにしてもファンが動かず、ランプも点灯しない	コンセントが差し込まれていない	コンセントを確認し、電源プラグが正しく差し込まれていない場合は、差し直してください。
		電源が供給されていない	コンセントまで電気が供給されているか確認してください。他の機器が使えるか、または元電源のブレーカーが落ちていないか確認してください。
		ヒューズが切れている	装置背面にあるヒューズが切れていないか確認してください。「5.5 ヒューズの交換」参照
2	スイッチをONにしても誘虫灯が点灯しない（ファンは動く）	誘虫灯がLED誘虫灯ソケットにしっかりはまっていない	誘虫灯がLED誘虫灯ソケットにしっかりはまっているか確認してください。しっかりはまっていない場合は、いったん誘虫灯を取り外してはめ直してください。「5.4 誘虫灯の交換」参照
		誘虫灯が切れている	誘虫灯をはめ直しても点灯しない場合は、誘虫灯が切れている可能性があります。その場合は、新しい誘虫灯に交換してください。「5.4 誘虫灯の交換」参照
		誘虫灯の極性が合っていない	LED誘虫ランプは、極性が合っていないと点灯しません。「入力側」と記載のある方を、LED誘虫灯ソケット（入力側）に合わせて装着してください。
		内部の不具合	上記の対策を行っても点灯しない場合は、内部の不具合が考えられますので、当社にご連絡ください。

6 こんなときは

No.	現象	原因	対策
3	異音、異臭がする	ファンや電装部品の不具合	直ちに使用をやめ、当社にご連絡ください。
4	吸引力が弱い	フィルターの目詰まり	フィルターの洗浄または交換を行ってください。 「5.3 フィルターの洗浄と交換」参照
		従来品の捕虫袋を使用している	クリンエコラインGX II 専用の捕虫袋を使用してください。

7 製品の保管および廃棄

7.1 長期間使用しない場合の保管について

本製品を長期間使用しない場合は、以下の事項を守ってください。

- ・ 誘引剤および捕虫袋を取り出して保管してください。
- ・ 「3.1.1 設置の注意事項」に記載している設置条件と同等の場所に保管してください。
- ・ 電源プラグをコンセントから抜いてください。

長期保管後に再使用する場合は、以下の点検を行ってください。

- ・ ほこりの堆積やかびの発生などがないか確認してください。特に誘虫灯に汚れがあると捕虫効果が落ちますので、ご注意ください。
- ・ 誘引剤、捕虫袋、フィルターは新しい物をセットしてください。

7.2 製品の廃棄について

本製品を廃棄する際は、誘引剤、捕虫袋、フィルター、誘虫灯を取り出してください。

製品本体、構成部品、消耗品の廃棄処分は、国または地方自治体が定める行政法令に従って適切に処分してください。

環境保全のため、不法投棄は絶対にしないでください。

8 消耗品、オプション品リスト

消耗品、オプション品をご用命の際は、下表の商品コードおよび商品名をご確認の上、当社までご連絡ください。

8.1 消耗品

商品コード	商品名	仕様	備考
23368	エコトロン・ルアー Ver.1.02	LED誘虫ランプ 16 W (飛散防止仕様)	1台でランプ2本使用
23363	クリンエコラインGX II 用捕虫袋 (ジッパー付)		GXシリーズ共通 水洗いによる再利用可能
23414	クリンエコラインGX II 用交換フィルター[18枚入]	素材：PET樹脂	水洗いによる再利用可能
23470	クリンエコラインGX II 用フィルター枠 (大)	樹脂製	本体下部
23471	クリンエコラインGX II 用フィルター枠 (小)	樹脂製	本体側面
23472	クリンエコラインGX II 用壁付け金具	鋼板	

8.2 オプション品

商品コード	商品名	仕様	備考
18788	ネイテクノ・ルアーBSパック (10包)	飛翔性昆虫誘引剤 (天然成分)	交換目安：1ヶ月ごと
23474	クリンエコラインGX II 用簡易架台 アジャスター付き	イレクターパイプ式	
23475	クリンエコラインGX II 用簡易架台 キャスター付き	イレクターパイプ式	

保証とアフターサービス

保証について

保証期間は誘虫灯などの消耗品を除き、お買い上げの日より1ヶ年間です。
保証は日本国内においてのみ有効です。

修理について

保証期間内に、取扱説明書・本体ラベルなどの注意に従った正常な使用状態で、故障が発生した場合には、無料修理させていただきます。

保証期間内でも次の場合は有償修理となります。

- 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
- お買い上げ後の落下などによる故障および損傷
- 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧、指定外の使用電源などによる故障および損傷
- 消耗部品
- 故障の原因が本製品以外に起因する場合
- その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障および損傷

補修用部品の保有期間

当社ではこの商品の補修用電気部品を製造打ち切り後6年間保有しています。補修用電気部品には同機能を有する代替部品を含めます。

アフターサービスについてご不明な点は、当社にお問い合わせください。

保証書

この保証書は、本品をお買い上げの日から1年の間に初期不良で故障が発生した場合に無料修理を行うことをお約束するものです。

品名：クリンエコライン GXII

保証期間：お買い上げ日から1年間

◆お客様ご住所

お客様	お名前
	ご住所
	電話番号 () —

◆販売店記入欄

お買い上げ日： 年 月 日
<販売店（お問い合わせ先）> 店名・住所
電話番号 () —

※上欄に記入および捺印がない場合は、レシートや領収書など（保証書内に）購入を証明する書類を貼り付けてください。

※ご記入いただきました個人情報は、保証期間内における無料修理の対応および事後の安全点検などにご利用させていただく事がございますのでご了承ください。

改訂履歴

バージョン	改訂日	改訂内容
Ver.1.0	20**年**月**日	第1版

2019年**月**日 第1版 発行

製造販売元

本社

イカリ消毒株式会社

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-11

アグリスクエア新宿11階

TEL. 03-3356-6191 (代表)

FAX. 03-3350-1405

<http://www.ikari.co.jp>